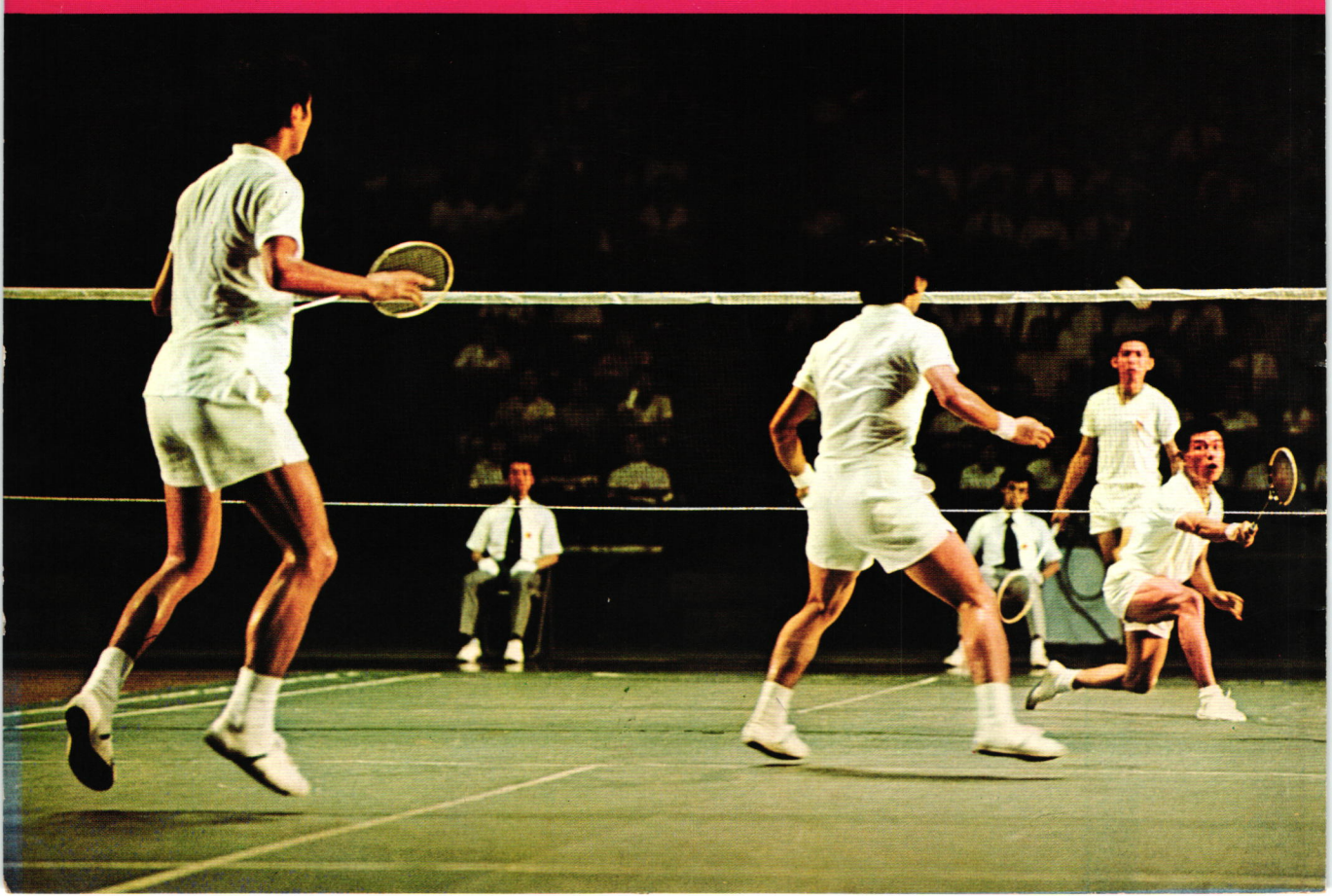
昭和44年12月23日第3種郵便物認可昭和48年10月1日発行毎月1回1日発行

日本バドミントン協会

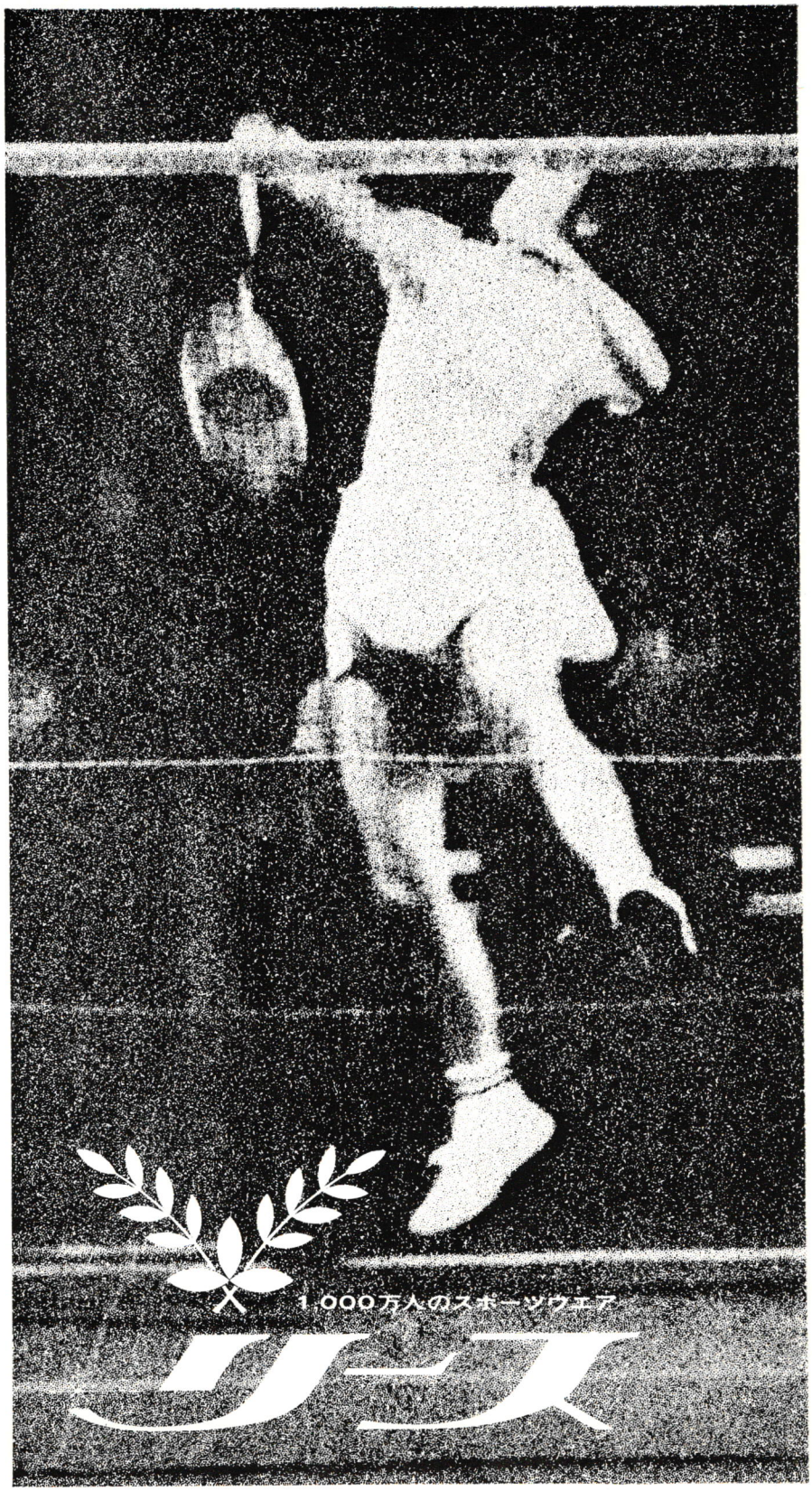
バドミントン界

THE BADMINTON WORLD

48 OCTOBER 1973



この一瞬!!



あなたはひかる――はげしい動き、ふき出す汗、すべての条件を
プレイヤー本位に満たすカワサキの〝リース〟はあなたのウエアです。

1,000万人のスポーツウエア

リース

K TOKYO

河崎ラケット工業株式会社
東京都台東区台東2-28-5 電話(831)-1884・0453



バドミントン界

〈48年10月号〉

第一回日中バドミントン競技大会特集号

〝無冠の王者〟来日……2
抜群のスピードとテクニック……3
中国強し、初戦を圧勝で飾る（東京大会）……4
陳玉娘組、相沢・竹中組を破る（大阪大会）……6
大阪大会を観戦して（片岡輝明）……7
秋山、一人気をはく（仙台大会）……8
長崎に舞う〝友好の羽根〟（長崎大会）……10
若手健闘（北海道大会）……12
☆恐るべきスピードとパワー（写真集）……13
西尾・秋本組健闘（福岡大会）……29
中国チーム、金沢でも圧勝（金沢大会）……30
強打の中国圧勝（名古屋大会）……32
すばやい動きで中国勝つ（前橋大会）……33
中国、10戦全勝を飾る（横浜大会）……34
日中大会にひろう……36
・日中戦を観戦して……40　・編集室……40

スタッフ／表紙撮影・山田真市／同制作・小浜正道／グラフ写真・山田真市、読売新聞社／その他写真・山田真市、読売新聞社、協会関係者／編集・明本薫、瀬戸孝／協力・日本協会事務局、各加盟団体、愛読者

特集・第一回日中バドミントン競技大会

8月30日
午後2時36分

〝無冠の王者〟来日





出迎えの日本選手とガッチリ握手

「日本の高い技術を学習したい」

記者団の質問をやんわりかわし、和やかな第一日

第一回日中バドミントン競技大会に出場する中国選手団、孫藍団長ら選手、役員二十五人は八月三十日午後二時三十六分羽田着の日航機で来日した。

午後三時すぎ、一行は空港到着ロビーに姿を見せ、グレーの工人服を着た孫団長が本田弘敏日本協会会長とがっちり握手。選手団は旅の疲れも見せず、出迎えた男子の小島、栂野尾、女子の湯木、竹中、相沢ら日本主力選手の拍手に迎えられ、笑顔で固く手を握り合っていた。

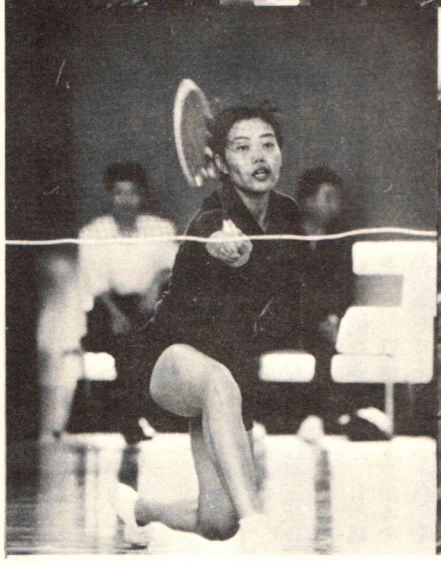
宿舎のホテル・グランドパレスで孫団長、魯明栄副団長、王文教男子コーチが記者会見。孫団長は「日本バドミントン協会の努力で来日でき、大変うれしい。日本は女子が世界で高い水準の国であり、私たちは日本から学習したい。試合を通じ友好を深められると信じている」とあいさつ。〝無冠の帝王〟といわれる中国の実力の秘密は一の問いに王コーチが「秘密なんてない。日本の女子が世界一になっているのも練習のおかげでしょう」とやんわりとかわす場面もあり、終始和やかな来日第一日だった。

8月31日
午前9時30分

中国チーム・富士短期大学体育館で初練習

抜群のスピードとテクニック——目をみはる実戦並みの練習







九月二日から開幕する第一回日中バドミントン競技大会に出場する中国男女チームは、三十一日午前九時三十分から東京・新宿区の富士短大体育館で日本での初練習を行った。男女とも軽い乱打からいきなり実戦並みの激しい打ち合いを披露して日本関係者をびっくりさせた。

男子は実力ナンバーワンの侯加昌がパートナーの湯仙虎と組んで、若手を相手にたっぷり打ち込む。侯のジャンピングスマッシュ、湯の巧みなネット際の球さばきが強烈な印象を与える。その隣で方凱祥、呉俊盛らも負けずに強打を見せる。

中国の実力はトマス杯（世界団体選手権）保持国、インドネシアをもしのぎ〝無冠の帝王〟（中国はIFに未加盟のためトマス杯に出場できない）と評価されているだけに、スピード、テクニックは抜群。前陣、高打点からの速攻は相手に休む暇を与えないほど。シャトルが快音を残してコートに何度もたたきつけられていた。

女子は、ただ一人お下げ髪の陳玉娘が梁秋霞と組んで林有雅、丘玉芳ペアを相手に男子に劣らないハードトレーニング。陳はインドネシアの至宝といわれたミナルニを一回り小さくしたような感じで、軽快なフットワーク、柔らかな手首を生かしたうまい配球が印象的。

男女ともヘアピン、ドロップショットなどの小ワザをほとんど使わず、前後にゆさぶる速攻を主体にテンポの早いプレーが目立った。またスタミナも相当あり、汗がラケットを振るたびに飛び散り、終始変わらない鋭い動きを見せていた。

侯、陳らは「そんなにスピーディーなプレーにみえますか？日本製のシャトルがよく飛ぶからでしょ」と冗談をいうほど、余裕のある練習風景だった。

を圧勝で飾る

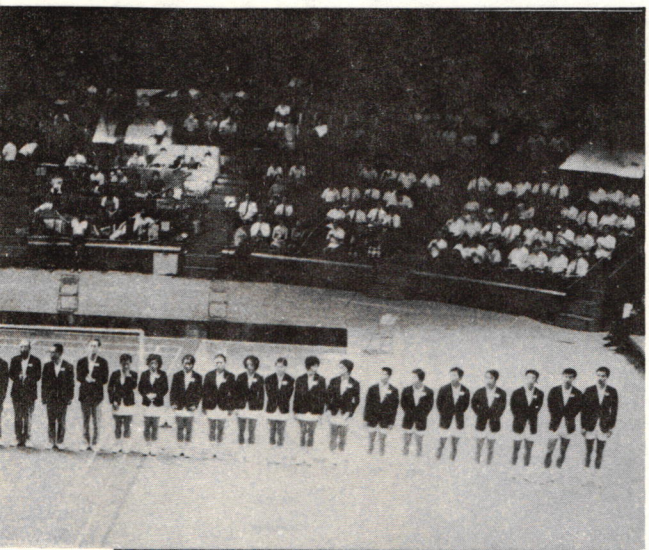
東京大会
9月2日

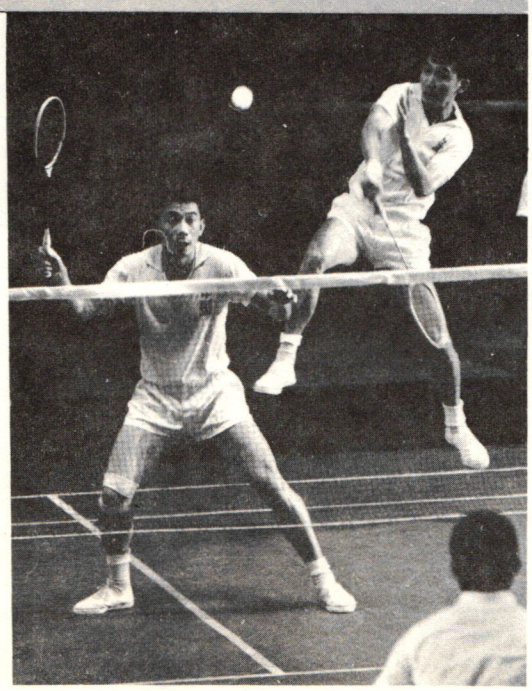
5試合連取し、あっさり逆転

湯、小島も寄せつけず

初めて来日した中国バドミントン・チームを迎えての日中バドミントン競技大会第一戦、中国―全日本の試合は二日東京・代々木体育館別館で行われ、中国が5―2で勝った。

競技は女子三試合、男子四試合の総合成績で勝敗を争った。日本はユーバー杯で活躍した湯木博江が第一シングルスで劉暁征をくだし、竹中悦子・相沢マチ子組も中国ペアの善戦に苦しんだもののポイントをあげてリードした。だが中国は第三試合のダブルスで陳玉娘・梁秋霞組が一方的な強さを見せて日本組を圧倒、以後男子シングルスで湯仙虎が日本NO1の小島一平を寄せつけぬ強さを見せるなど五試合を連取。鮮やかな逆転勝ちで来日第一戦を飾った。





侯加昌・湯仙虎組（読売新聞提供）

中国 5（女1―2、男4―0）2 日本

劉暁征 1	11	8	11	7	2	湯木博江 ○
	1	11	7	15		
丘玉芳 林有雅 1	9	15	15	3	2	竹中悦子、相沢マチ子 ○
	15	7	3	15		
○陳玉娘 梁秋霞 2	15		15	1	0	湯木博江、柴山きよ子
	9		1			
○湯仙虎 2	15	15	3	0	小島一平
	6	15			
○陳天祥 呉俊盛 2	15	15	12	15	1	今泉勉、本間順次
	11	7	15			
○侯加昌 湯仙虎 2	15		15	4	0	池田信孝、梶野尾昌一
	4		4			
○方凱祥 2	15	15	4	0	秋山真男
	3	4			

中国強し，初戦

中国ショック

「中国ショック」――いくらか誇張した表現を使えば、日本のバドミントン関係者にそんな驚きを与えた日中バドミントン第一戦だった。

「男子は恐らく実力世界一。女子は日本がやや優勢か」との前評判をほぼ裏書きする結果に終わった第一戦だが、初めて姿を見せた中国選手のプレーぶりは、男子の圧倒的な力とともに、女子も世界チャンピオンの日本を脅かすほどの底力が強烈な印象を与えた。

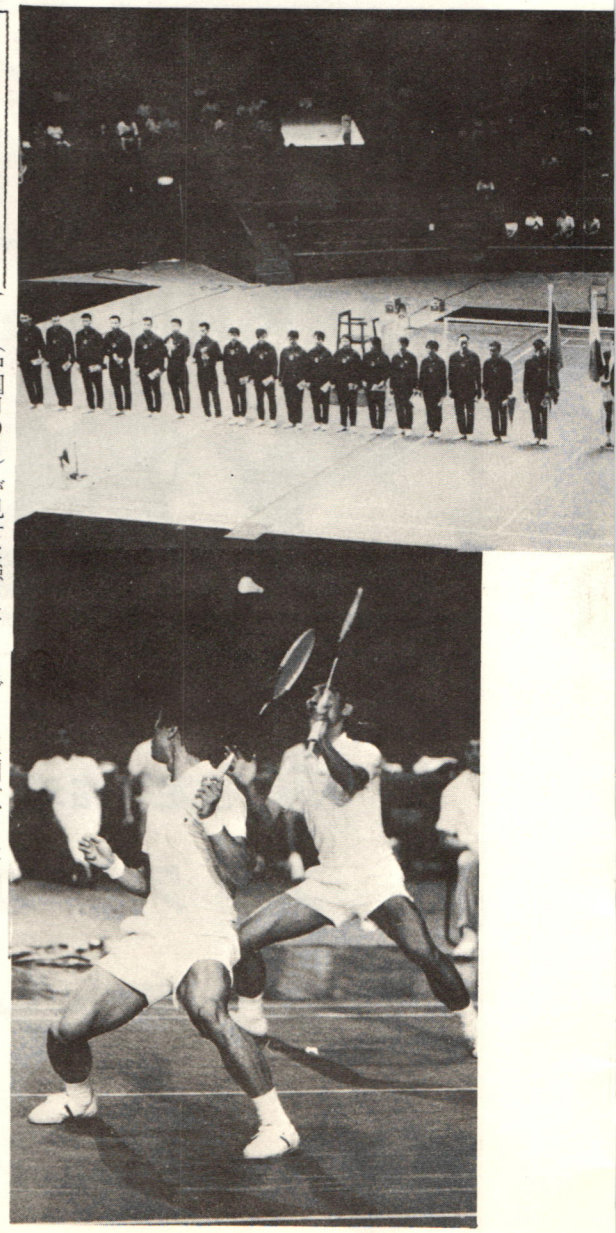
中国の強さは何よりもそのスピードとパワーだ。中でも第四試合の男子シングルスで湯仙虎（中国NO2）が見せた強さは圧倒的だった。国際試合の経験十分の小島に「押されっ放しでどうにもならなかった」といわせるほどの一方的な内容。高い角度からたたきつけるジャンプスマッシュと、機敏なネットぎわのプレーで先手、先手と攻めまくる湯に、小島は反撃の手がかりもつかめなかった。湯はことしのデンマーク遠征でもヨーロッパの一流選手に5ポイント以上を許さなかったというが、それにしてもすばらしいスタミナと気力だ。

中国は女子も予期以上の力を見せた。湯木と対戦した劉は、第一ゲーム激しい動きで湯木をゆさぶり、ネットプレーでポイントをあげるなど活気にあふれたゲーム展開で、日本のエースと互角の試合ぶり。丘、林組のダブルスでも全英チャンピオンの竹中・相沢組を苦しめた。日本はこの二試合を辛くも勝ったものの、キャリアの差でわずかに第三ゲームの主導権をつかんだといった形であり、ショットの内容では全く五分という感じだった。

卓球では中国のお家芸として「前陣速攻」が有名だが、これをそのままバドミントンに生かしたといえるような先制攻撃と、積極的なプレーを支える基礎体力の充実が中国男女選手に共通した強味といえよう。この日対戦した日本のトップクラスの感想は、「普通ならスマッシュできるはずの球でも、まともに打ち返せないほど重く感じる」（湯木）、「どんな体勢からでもボデーアタックをねらってくるので、少しも気が抜けない」（竹中）、「きょうの試合からはどうやったら勝てるのか見当もつかない」（小島）とそろって驚きばかりだ。

「中国がいま世界選手権に出るとしたら、男子は文句なしに優勝争い、女子も日本の最強の相手になるだろう」と日本の関係者は口をそろえていうが、差し当たり中国参加の見通しが強まる来年のアジア大会では、日本、インドネシアと中国の接戦が見ものである。

（朝日新聞）



本間・今泉組

9月4日
大阪大会

陳玉娘組、相沢・竹中組を破る

3－0で中国が完勝

第一回日中バドミントン大阪大会（女子）の中国－全日本の試合は四日午後六時から大阪市中央体育館で行われ、中国は陳玉娘組が強烈なスマッシュを決めて全英選手権ダブルス優勝の相沢マチ子・竹中悦子組を破る殊勲をたて、また単でも劉暁征が石崎茂子に競り勝ち3－0で勝った。中国は2連勝。

試合時間延長のため1ゲームマッチのオープンとなった注目の日中の単ナンバーワン同士の対決、陳玉娘－湯木戦は陳のドロップショットがさえ11－8で陳が勝った。

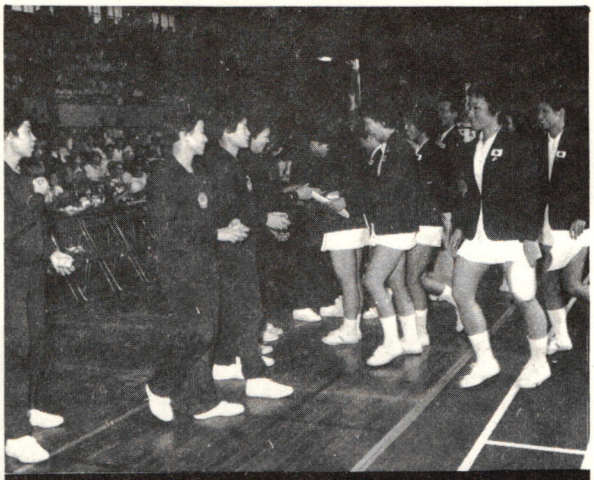
（北国新聞）

中国 3（単1－0 複2－0）0 日本

○陳玉娘 梁秋霞 2
15－3 15－8 13－15
1 相沢 竹中

○劉暁征 2
11－7 11－12 11－3
1 石崎

○林有雅 丘玉芳 2
15－3 15－12 9－15
1 徳田 高田



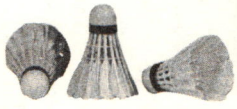


ペナントの交換(上)とレセプションでのスナップ(下)（読売新聞提供）

水鳥 検定合格球

ファストゴールド

ファストシルバー





ファスト印シャトルコック 製造発売元

有限会社 ジャワ商会

山形市六日町7の28
電話 0263(33)3333(代表)

大阪大会を観戦して

四条畷学園高校監督　片岡輝明

第一戦東京大会をTVでみてその強さに驚き〝中国強し！〟の期待と不安で迎えた地方大会の初戦。大阪協会は万全の態勢で選手団を歓迎した。会長以下役員が新大阪駅に出迎え、人民服に身を包んだ選手団をホテルに送り、さっそく練習となった。

選手係の私は練習会場に同行し、彼等の言ういわゆる「学習」の機会到来、何でも見てやろうの精神で付き添った。

以下見たまま感じたまま聞いたままの記録である。

最初にウォーミングアップの体操であるが、何とも妙なスタイルである。極端にテンションとリラックスを取り入れた体操をするものだと思っていると、いきなりラケットを持ってスマッシュを打ちはじめた。

はじめからバンバン打っている。それが終りまでずっと続くのである。コーチの陳福寿氏は四十一才とプログラムにあるが、彼も一番若い李芳選手と約一時間ずっとコートに入っていた。スタミナもさることながら、その根気のよいこと。

われわれ指導者も考えなおさねばと思いつつ通訳の王英蘭女史に中国のバドミントンの事を色々と聞いてみた。大変な数の選手層で、なんでも日本へ来た選手達は予選を勝ち抜いてきた強者揃いということだった。

そして彼女等のバドミントンに対する意識は、よいプレーをすることによって中国人民の体力向上と、技術向上のけん引車になるのだという。それが毛沢東思想の実践につながるのだという。

日本選手のようにあくまで趣味の段階を超えず、現役引退後は時と共に忘れ去られてしまうというのでなく、スポーツが政治に直接つながっている国の選手達の姿勢も、意気ごみが当然違うというのもうなづける。とにかく一生懸命である。

友好第一、勝敗第二というのは相手が弱い時に使う外交辞令ではないかと思うのである。

次に「熊猫」とか「航空牌」とかの名前のラケットをみた。ずい分グリップが細く、皮革を全部ほどいてバンド状のものを巻いているが極端に細い。フレームも柔らかく、どうみても日本製より悪い。このラケットでものすごいスマッシュを打つ。

ガットはすべてシープである。700円位で手に入るとのことで、日本よりは恵まれている。

練習中、コーチは選手と何事か相談している。命令でなく、相談である。これも毛思想のひとつで、強制されることで問題は解決されず、すべて話し合いで解決するのだそうだ。

通訳の女史に「私は選手をなぐります」と言ったら彼女「私達の毛主席は絶対にそれを許しません」とえらい見幕で叱られた。「暴力は絶対に許さない」というのでいかなる場合でもそうかとたずねると「正義の為のみ通用する」とのこと。何が正義で何が不義なのか聞かなかったが、何となく解るようで解らない事もあるものだと思った。

試合が始まり予想通り日本は完敗した。バドミントンの試合には珍らしい観衆がつめかけた。胸に堂々と赤い字で『中国』としるしたユニフォームと、小さな小さなよく見ないと分らないくらいの『日の丸』の対戦であった。試合の方もそれぐらいの差があった。

ゲームの中で残念だったのは、初めてバドミントンを見る人も多数いたので、盛り上がったゲームの最中にシャトルの交換に時間をとってほしくなかった。バドミントンを〝見る　スポーツにするには選手諸君もその点の配慮がほしい。

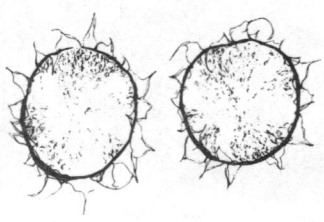
シャトル交換は専ら日本側の注文で行なわれる。TVのドラマの中のコマーシャルの如く気の抜けた時間を取らずに、事前に選択されたシャトルであるのだから指でつまんだら、すぐに続行して欲しい。5ッも6ッも選ぶ選手があったが考え直すべきである。

特にダブルス戦で心がけてもらいたいものだ。高校野球とプロ野球の面白さの差はそのテンポの差であろう。選手諸君への注文である。

試合の結果は大阪大会のみでなくその後も男女10戦すべて負けた。「学習」に来た人達に逆に「学習」させられてしまった。ネット際の脚の運びがあまりに見事なので不思議に思って聞いてみると、ほとんどの選手が、卓球も上手であるとのこと。

いわゆる「前陣速攻」の感（予見）は、卓球で養われている面が多い。日本のスポーツマンは一般にひとつのスポーツしかやらないが、小さい頃からいろいろな種目をやらせる必要があろう。テニスや卓球やホッケーのように、ラケットを使うものはなんでもやればよいのだが、学校体育で育つ制度の中では無理のようだ。これは教育行政の問題であるので指導者の方で解決するより方法は無さそうである。

ゲームそのものの評はスポーツ記者が種々の角度から取り上げてくれたので、ここで省くが、とにかく今回の中国戦は私にとって大きな収穫であった。何年かかるかわからないが、いつの日か中国を打ち破る目標を持ちつつ明日からまた高校生の指導に励む毎日を送るつもりである。



9月5日
仙台大会

秋山、一人気をはく

中国4－1で圧倒

第一回日中バドミントン仙台大会（男子）は五日、仙台市の宮城県スポーツセンターで男子シングルス二試合、ダブルス三試合が行われた。

日本は第二試合で秋山真男がポイントをあげたにとどまり、他の試合は、中国チームが圧倒した。

中国4（単1－1、複3－0）1日本

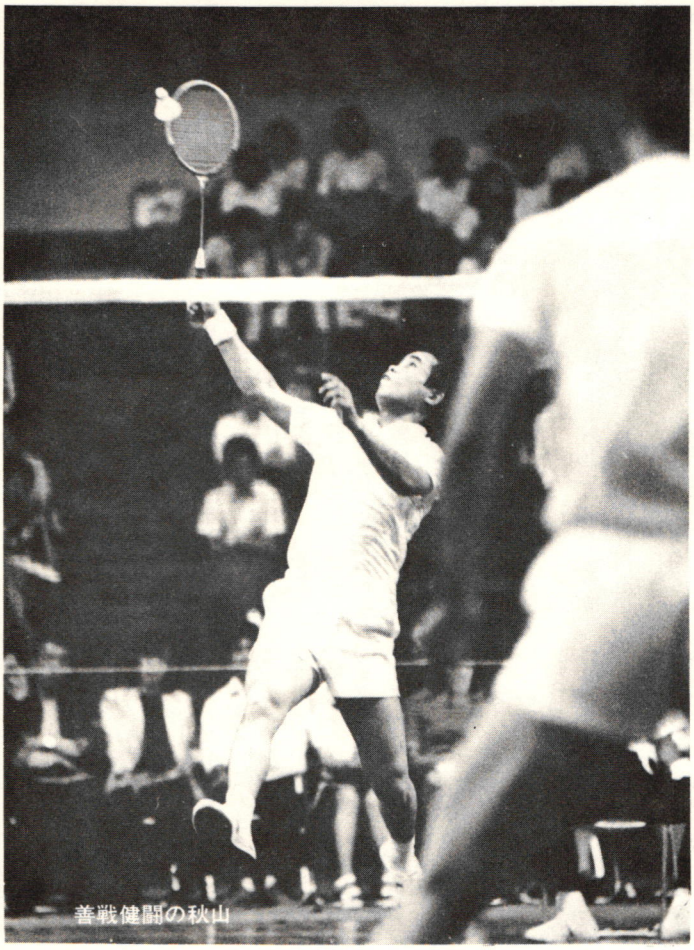
○陳天祥 2（15－12、15－6）0 池田 栂野尾
呉俊盛

周克倹 0（7－15、5－15）2 秋山○

○陳新輝 2（15－0、15－4）0 渡部 山並
瘦耀東

○方凱祥 2（12－15、15－6、15－12）1 小島
侯加昌

○湯仙虎 2（15－4、15－2）0 田所 谷口



善戦健闘の秋山



魯迅の記念碑を訪れる

ヨネヤマラケット　ヨーロッパ　バドミントン旅行

1974年３月11日～３月25日

東京―コペンハーゲン―ミュンヘン―パリ―ロンドン―東京

ヨネヤマラケットでは，このたび“ヨネヤマラケット　ヨーロッパ　バドミントン旅行”を企画いたしました。

この旅行は，バドミントンの盛んな国デンマークでのオープン試合観戦，デンマークのクラブとの親善試合，そして個人の世界選手権ともいうべき全英選手権大会をイギリスにおいて観戦，など他の旅行では絶対に味わうことのできない楽しさいっぱいのコースです。

この機会にヨーロッパを訪ねてみてはいかがでしょうか。旅行日程は別記のとおりで，旅行費用は特別価格275,000円となっております。現在，募集人員40名様のところ30名様ほどご参加が確定しておりますので，ご参加をご希望の方はお早めにお申し込み下さいますようお願い申し上げます。

〈お申し込み方法〉

1. **お申し込み締切り**　昭和48年12月31日
2. **お申し込み金**　ご参加お申し込みと同時に，20,000円を下記の口座にお振り込み下さい。なお，このお申し込み金は，旅行経費にくみ入れます。
3. **旅行費のお支払い**　残金255,000円を出発１か月前までに下記口座にお振り込み下さい。
   〔お申し込み金，旅行費お振り込み先〕
   北越銀行東京支店
   「ヨネヤマラケット・バドミントン旅行」口座
   口座番号　29747（普通）
4. **お取り消し料**　特別割引航空運賃適用のため，出発１か月前以降のお取り消し料として20,000円をいただきます。
5. **お申し込み，お問い合せ先**
   株式会社ヨネヤマラケット・バドミントン旅行係
   〒113　東京都文京区湯島３－23－13
   TEL　03－834－4486（代表）

〈旅　行　条　件〉

1. **期日**　昭和49年３月11日出発，３月25日帰国。
2. **経路**　東京～コペンハーゲン（デンマーク・オープン試合観戦，デンマークのクラブと交歓）～ミュンヘン～パリ～ロンドン（全英選手権観戦）～東京
2. **総経費**　275,000円
   この総経費に含まれるものは次のとおりです。
(1)航空運賃　全行程エコノミークラス航空運賃
(2)鉄道運賃　コペンハーゲン～ミュンヘン～パリ間の鉄道寝台運賃料金
(3)バス運賃　空港・駅とホテル間の特別バス運賃
(4)観光バス料金　旅行日程に含まれている特別バス料金，ガイド料金，入場料等
(5)ホテル料金　各都市における１級ホテルの２人室（原則として浴室付）にお２人ずつの宿泊料および税金，サービス料
(6)食事料金　毎日２食の食事料金（昼食は含まれません）
(7)手荷物運搬料金　お１人につきスーツケース２個程度の手荷物の全行程の運搬料金（重量制限は20キロ）

ただし，超過手荷物料金，洗濯代，酒，電話代，果実類，その他個人的性質の費用などは総費用の中に含まれておりません。

4. **添乗員**　日本交通公社社員が全行程にわたり，お伴してごあっせん申し上げます。

なおデンマーク・オープン試合，全英選手権大会の入場料金は，ヨネヤマラケットが負担いたします。

企画＝ヨネヤマラケット　主催＝日本交通公社

日本交通公社

（運輸省登録第64号）

YONEYAMA

友好の羽根”

長崎大会・9月7日

地元選手の健闘にわく

中国強く、日本は湯木が面目保つ

第一回日中バドミントン競技長崎大会（長崎新聞社など後援）は、七日午後四時から長崎市魚の町の市民体育館で開いたが、中国が4－1で日本を破り、日本の第二戦の雪辱はならなかった。

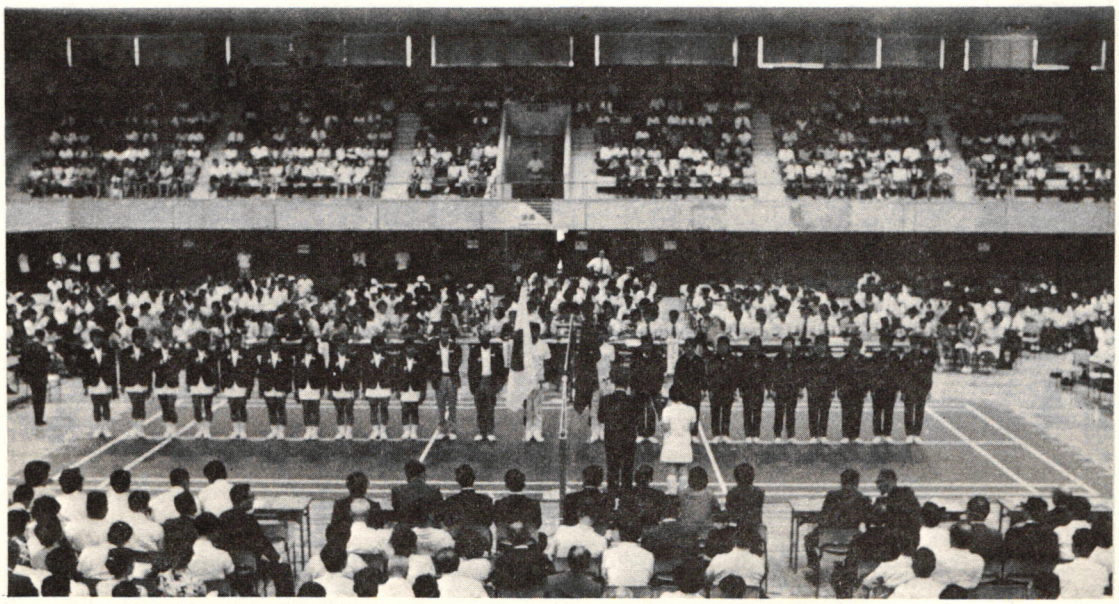
□

試合に先立ち開会式では、長崎商ブラスバンド部の入場行進曲に合わせ、中国選手団から入場。大会宣言、国歌吹奏のあと、選手団紹介。地元から出場の柿本・樋口組にひときわ盛んな声援が飛んだ。試合は第一複で陳玉娘・梁秋霞組が竹中・相沢組を2－0のストレート勝ち。陳玉娘組の巧みなコーナワーク、強烈なスマッシュ攻勢に世界複チャンピオンペアも完敗。しかし第一単に出た湯木は鄭恵明を寄せつけず2－0で勝ち、世界単チャンピオンの貫録を見せた。

続く第二複では、地元の柿本・樋口が劉暁征・許慧玲組と対戦。最初から激しいラリーの応酬に観客はかたずをのんだが、劉暁征組が先手々々に攻撃、結局15－2、15－10の順当勝ちした。

第二単も一ゲーム取ってリードした石崎が、中国チームで一番若い李芳の積極的な攻撃の前に、ファイナル6－11で敗れた。

第三複、西尾・秋本組は丘玉芳・林有雅組の速い前陣攻撃の前に善戦むなしく、敗れた。



満員の大観衆がつめかけて開かれた長崎大会（読売新聞提供）

長崎に舞う“

○…地元から出場した柿本彰子(二四)＝三菱重工長崎＝、樋口省子(二〇)＝樋口司法事務所＝の両選手。第二複で劉暁征・許慧玲組と対戦。一ゲームは2－15と、劉組の強烈なスマッシュ攻勢の前に完敗。二ゲームも6－9の劣勢。しかし両選手とも死力を尽くしてばん回した。7、8、9と着々と連取。だが劉組に攻勢に転じられ、アッという間に9－14とマッチポイントを握られた。

〝まだまだ〟－。両選手は歯を食いしばってがんばった。1点をばん回した。しかしついにサービス権を取られ、健闘むなしく敗れた。

一ゲームの出だしは好調だった。劉組の強烈なスマッシュ攻勢にもめげず、激しいラリーの応酬。会場は水を打ったように、ピーンと緊張感が漂った。両選手の好プレーにひときわ高い拍手がわいた。

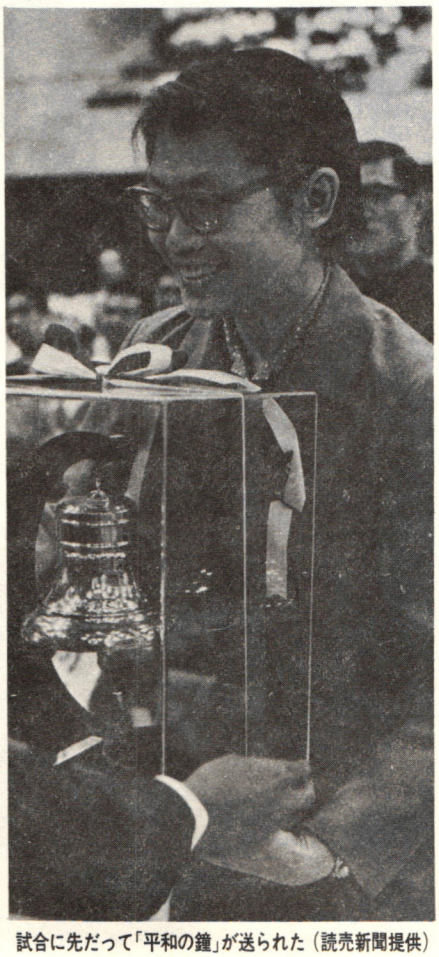
〝発祥の地〟で熱戦

○…約二百年前に書かれた「紅毛雑話」という本に当時長崎の出島で羽根つきが行われたことが書かれており、いわば長崎はバドミントンの日本での発祥の地。体育館にはトップクラスの試合を見ようと三千五百人の観衆が詰めかけた。だが試合は中国が圧勝、〝未知の力〟を見せつけた。

大阪大会に続き相沢、竹中の世界NO1ペアが再び陳、梁組に敗れた。それもいいところがなく中国の鋭く前に出る動きに面くらった形で「調子は悪くないんです。それより中国がすばらしすぎる…」と相沢も完敗を認めた。

日中女子の対戦は三回目だが次第に力を発揮する中国に伊藤監督も「卓球でいう前陣速攻ですね。ネット際のプレーは鋭い。この中国の前に出る戦法にはなれないし、いまのところ対応しようがない。よく日本を研究しているね。強いな」と改めて驚いた表情だった。

(長崎新聞)



試合に先だって「平和の鐘」が送られた(読売新聞提供)

スポット

日中バドミントン長崎競技大会で〝裏方さん〟として活躍した 成清広子さん(四七)

第一回日中バドミントンは七日大観衆を集めて成功のうちに終了したが、この陰に成清さんら〝裏方さん〟の活躍があった。

大会の準備をする一方、来崎した中国選手団とも交流会をしたそのときの司会者だった。「同じアジア人なので違和感どころか、親近感の方が強く感じられました」という。

結婚するまではテニスをしていたそうで、当時(二十三年)は社会情勢も悪く「家庭を預かる主婦が屋外で運動するなんて考えられないことでした」と懐かしそうに話す。

今でも週二、三回はどこかの体育館で競技を楽しんでいる。住所は長崎市本原町。

9月8日
札幌大会

田所、谷口、遠藤の若手健闘

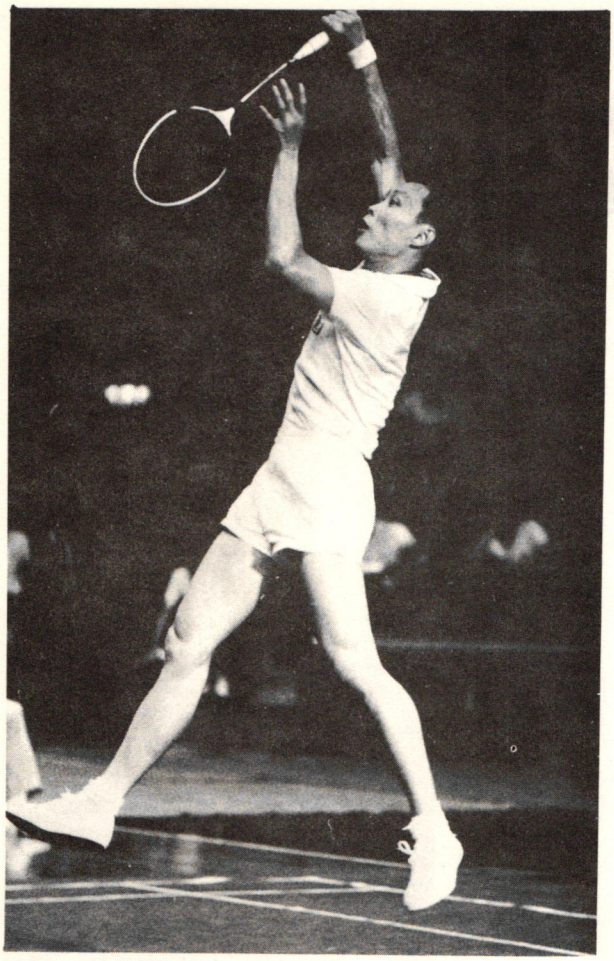
中国4－2で快勝

第一回日中バドミントン札幌大会（男子）は八日、真駒内屋内競技場アイスアリーナで男子シングルス三試合、ダブルス三試合が行われた。

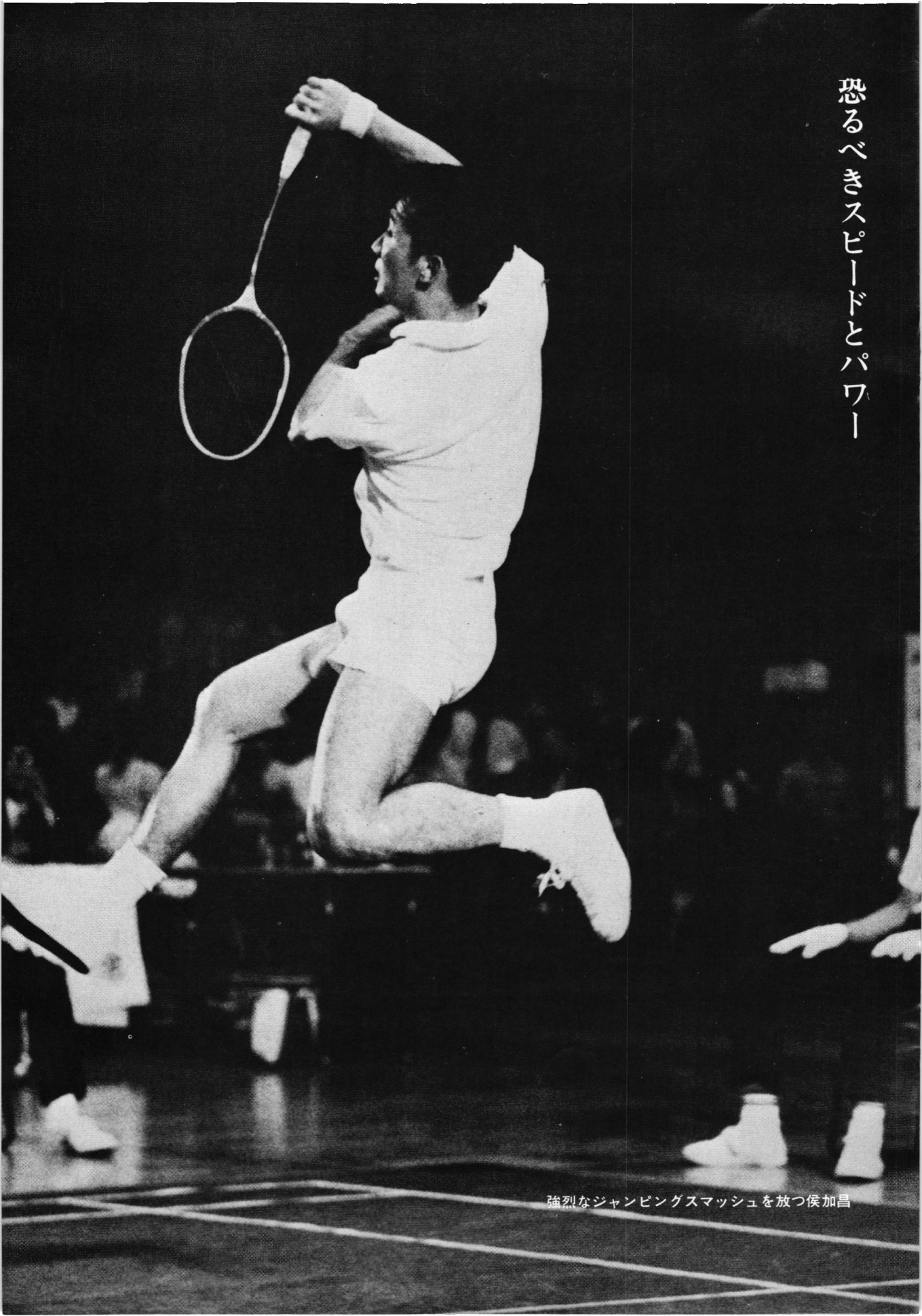
中国チームは、パワー、スタミナ、スピードで大きく日本チームを圧倒し、前半3ポイントを連取した。これに対し日本は、遠藤が地元の声援を受けて健闘し、ファイナルに持ち込み、続く池田・栂野尾組、田所・谷口組は、いずれもストレートで降し、貴重な2ポイントをあげた。

中国 4
- 単 3－0 ○庚耀東 2（15－7, 15－10）0 秋山
- 複 1－2 ○周克倹 2（15－8, 15－2）1 遠藤
- 単 3－0 方凱祥 0（11－15, 17－18）2 池田 ○呉俊盛
- 複 1－2 陳新輝 0（11－15, 9－15）2 田所 ○庚耀東

2 日本
- 単 3－0 ○陳天祥 2（15－8, 15－9）0 小島
- 複 1－2 ○湯仙虎 2（15－6, 15－5）0 今泉 侯加昌

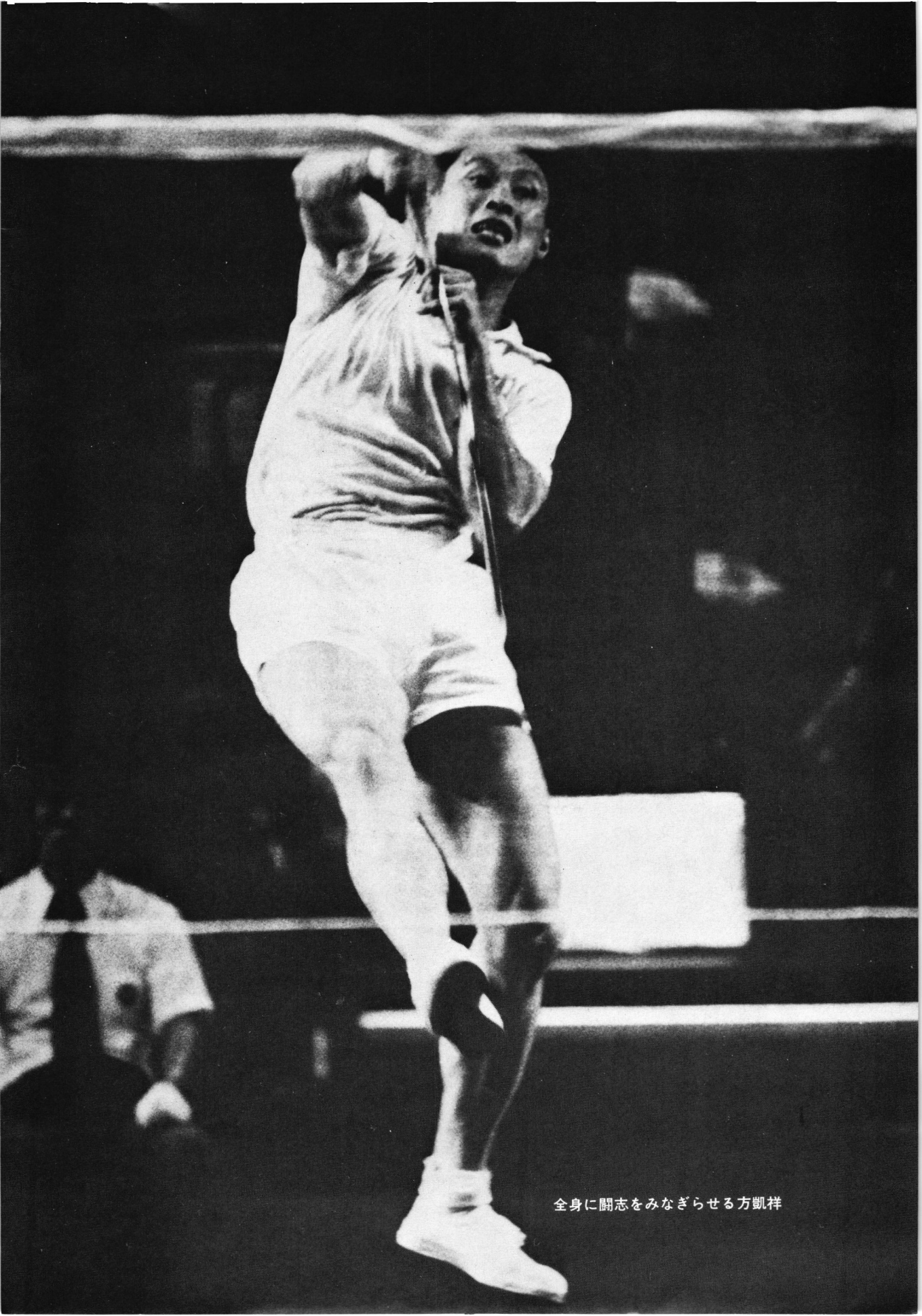




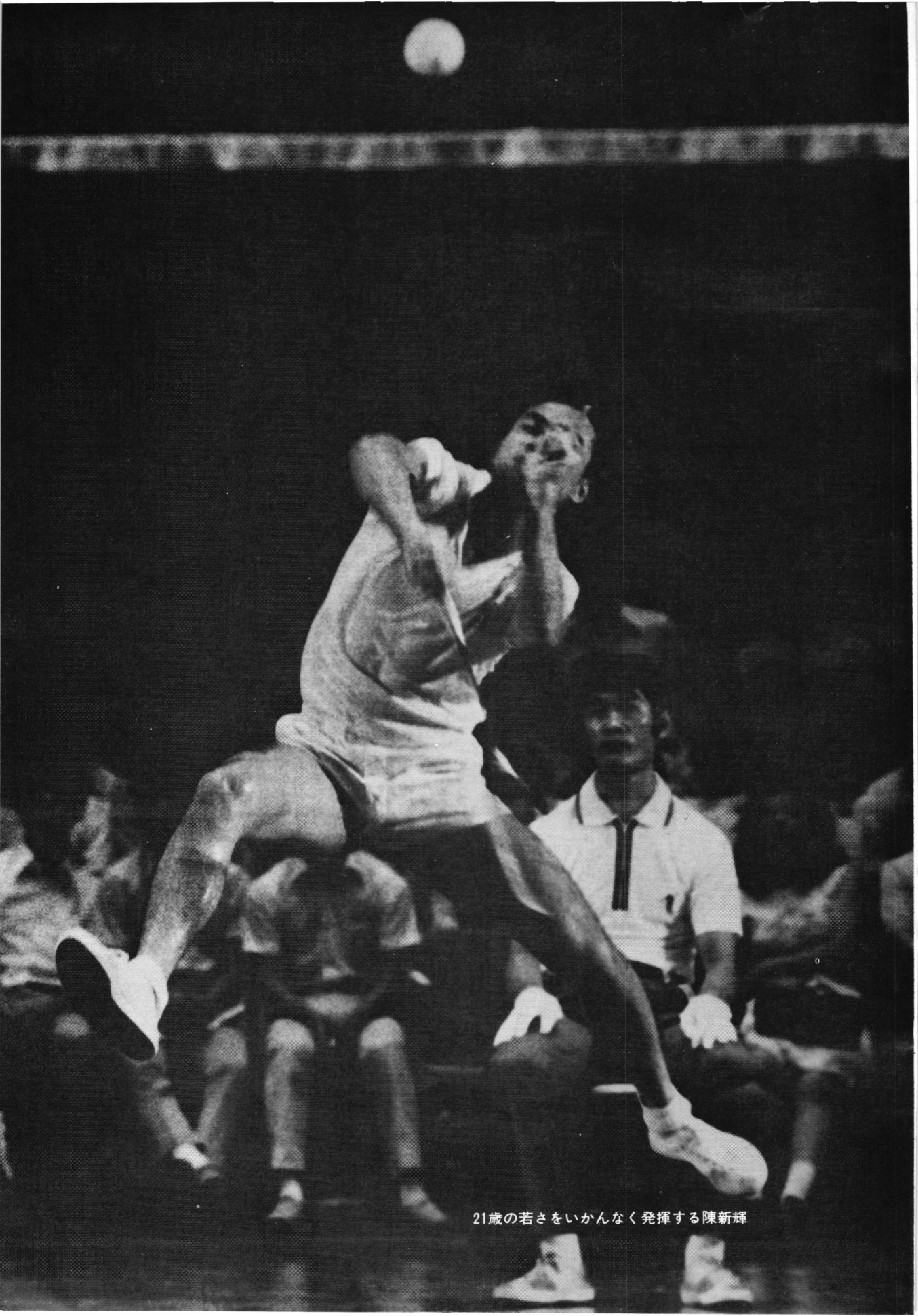


恐るべきスピードとパワー

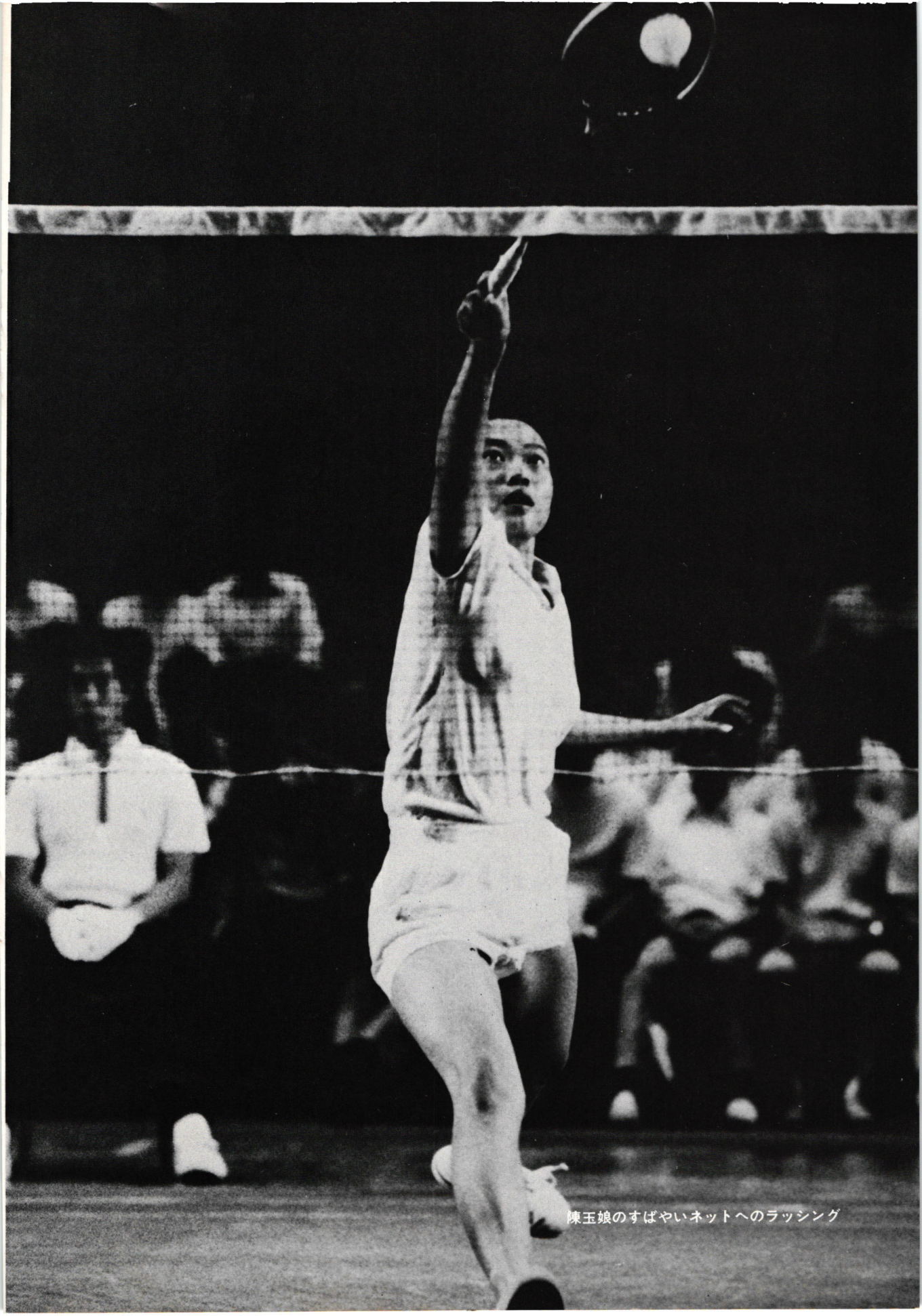
強烈なジャンピングスマッシュを放つ侯加昌



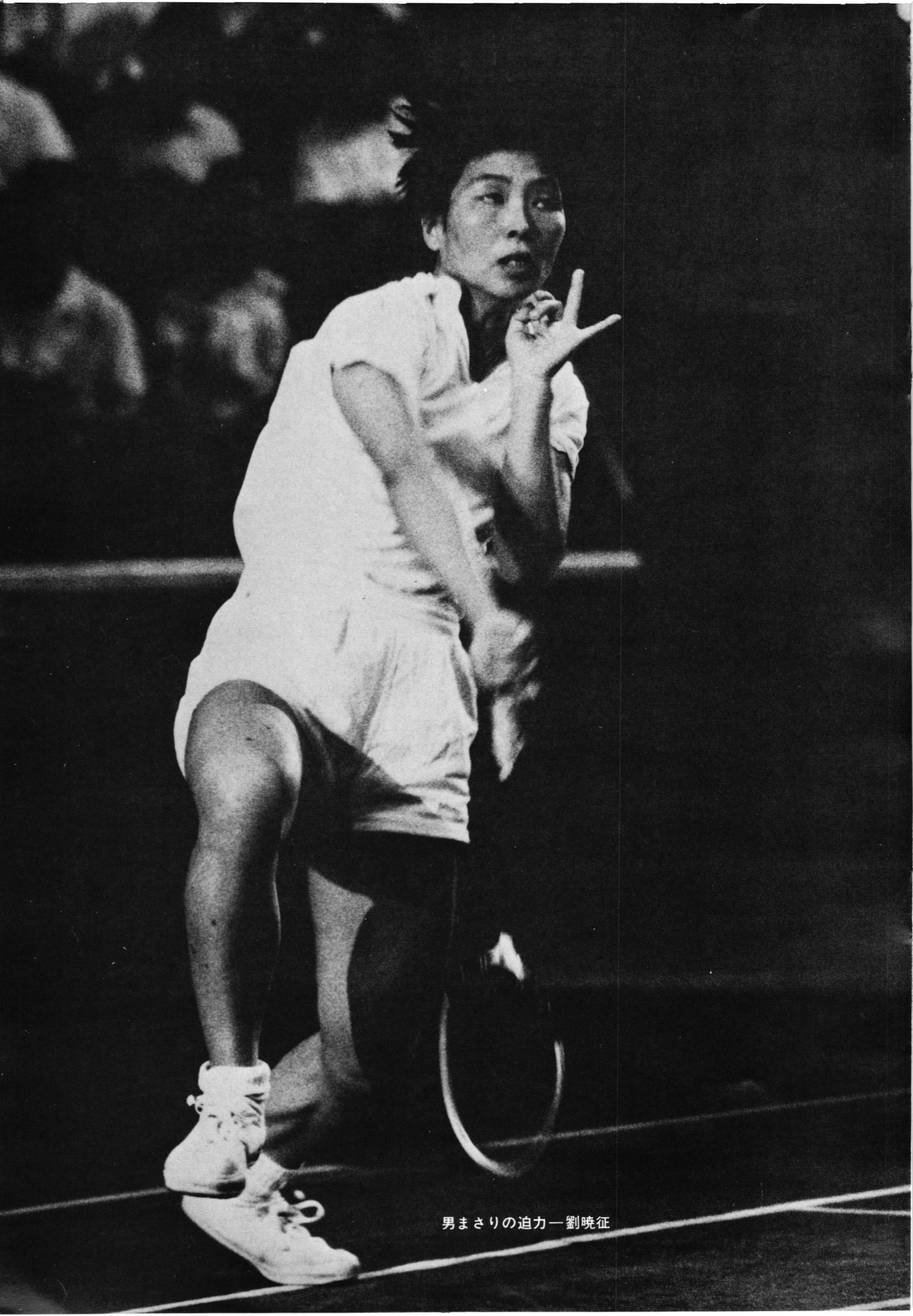
全身に闘志をみなぎらせる方凱祥



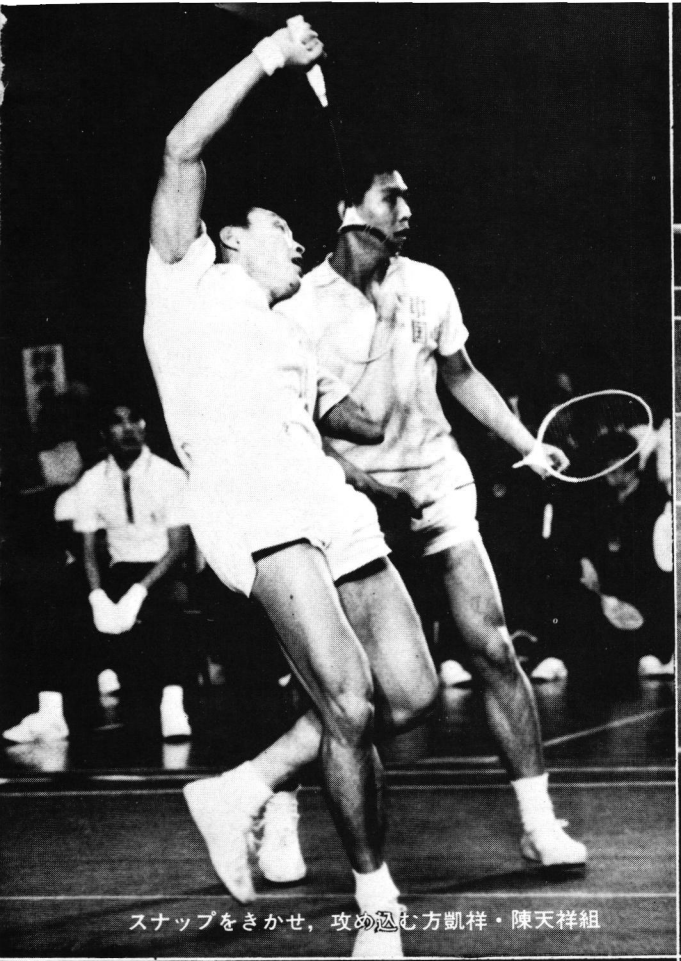
21歳の若さをいかんなく発揮する陳新輝



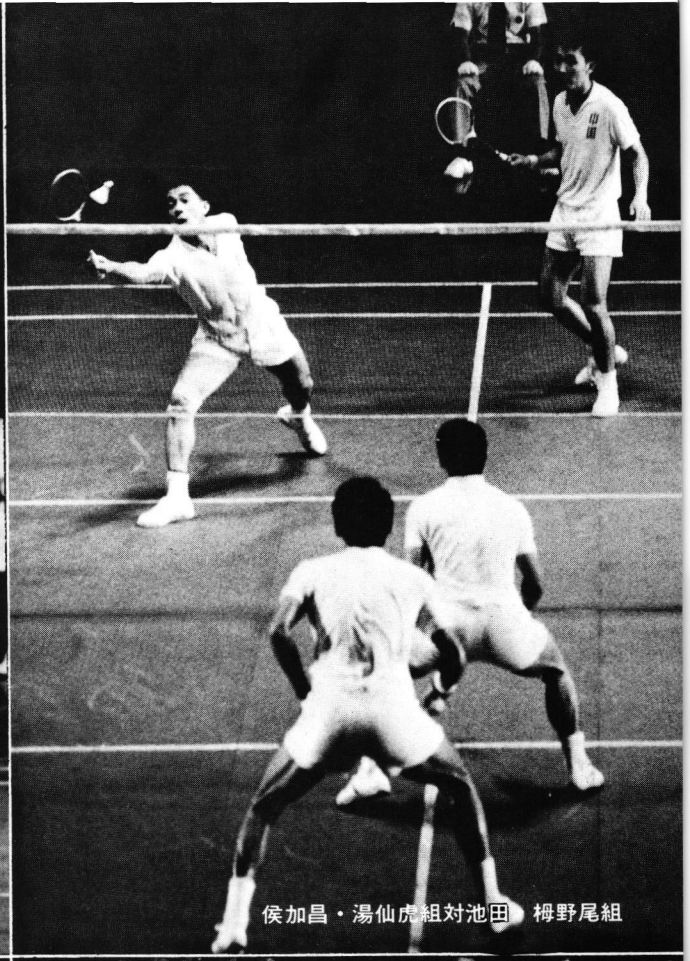
陳玉娘のすばやいネットへのラッシング



男まさりの迫力—劉暁征



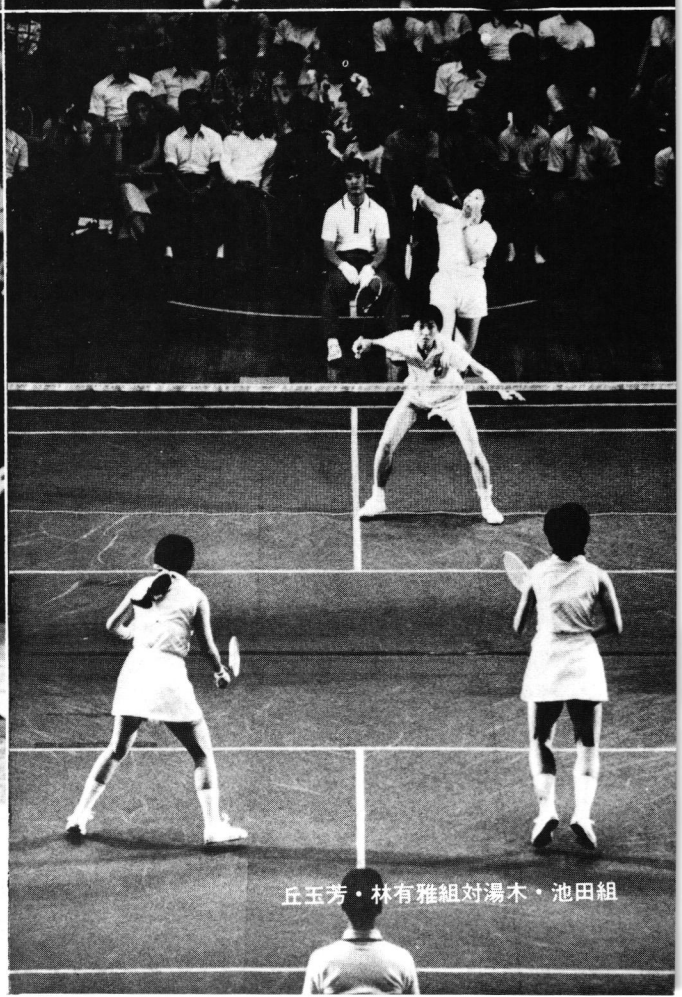
スナップをきかせ，攻め込む方凱祥・陳天祥組



侯加昌・湯仙虎組対池田・栂野尾組



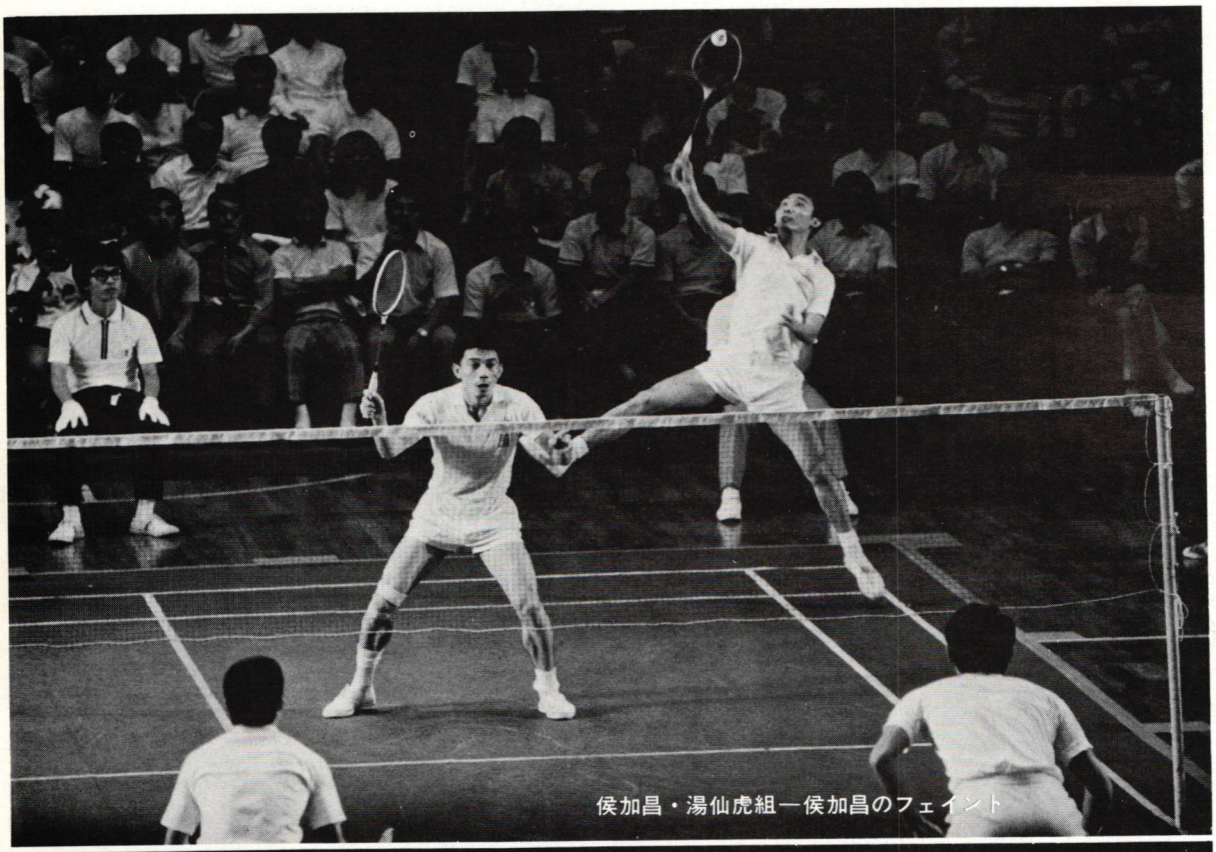
丘玉芳・林有雅組



丘玉芳・林有雅組対湯木・池田組

ジャンプしながら放つスマッシュ，ドロップショットに日本勢押しまくらる

（読売新聞提供）



侯加昌・湯仙虎組―侯加昌のフェイント



陳玉娘・梁秋霞組―陳玉娘のスマッシュ



育館での練習を終えて

明栄(副団長)，曾昭濂(医師)，隋華義(通訳)，林有雅，許慧玲，鄭恵明，李芳
一人おいて侯加昌，陳天祥，周克倹，湯仙虎，王文教(コーチ)。



富士短期大学体

前列左から，劉暁征，丘玉芳，陳玉娘，梁秋霞，周龍雲(医師)，一人おいて

後列左から，二人おいて陳福寿(コーチ)，呉俊盛，庾耀東，陳新輝，方凱祥，

熱戦の中の静かなひととき

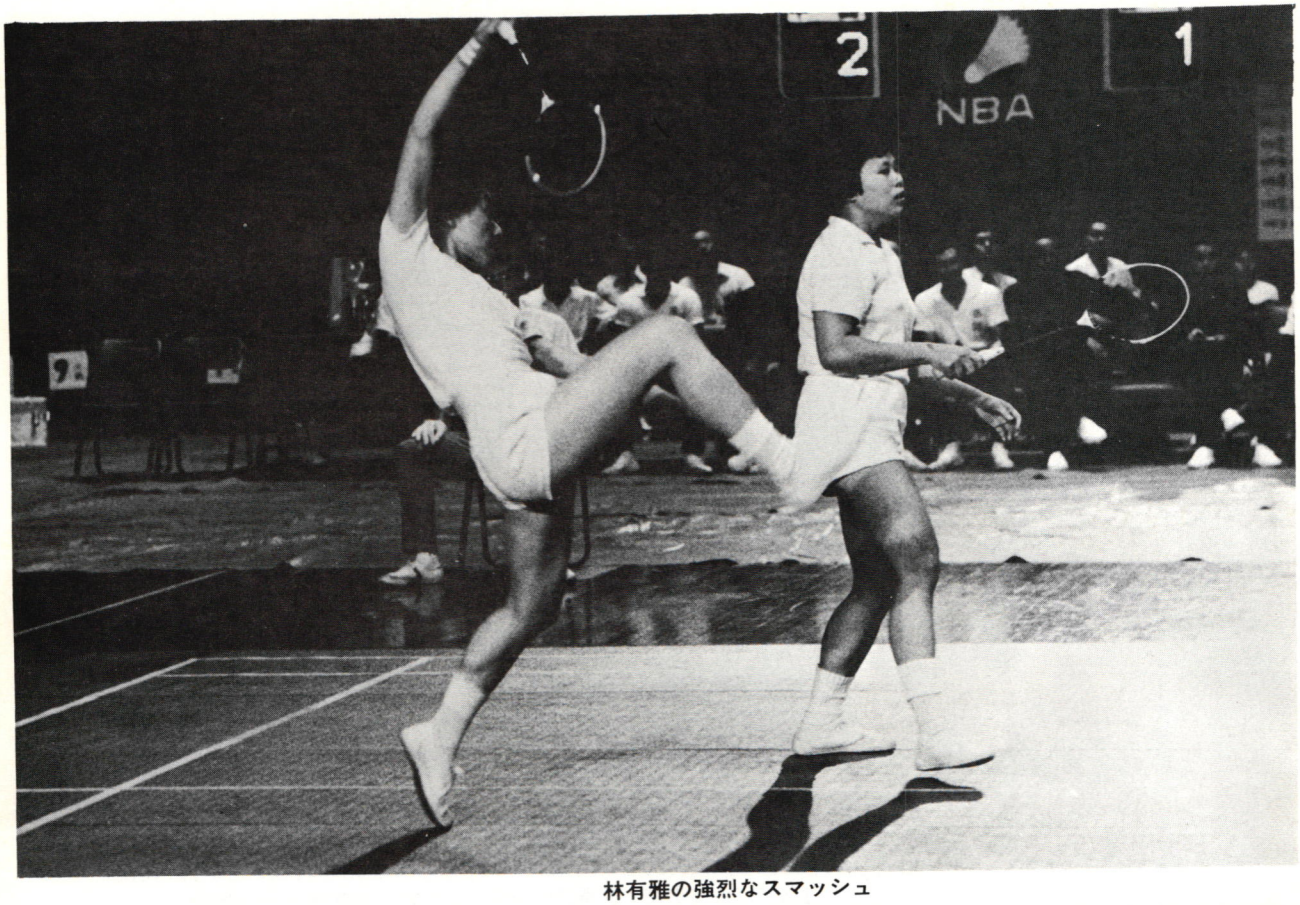
（読売新聞提供）



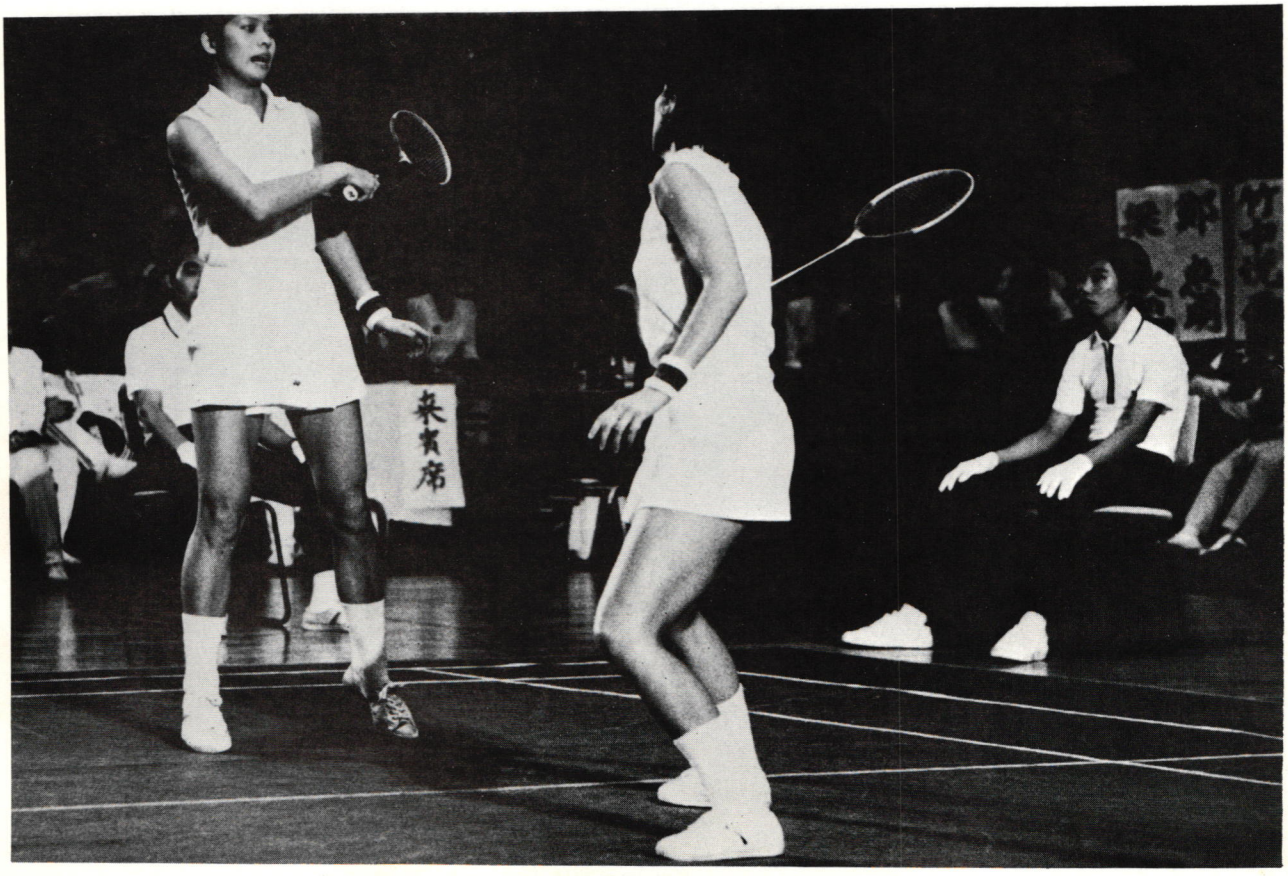
仙台・輪王寺でお茶を一服



伊香保温泉にて



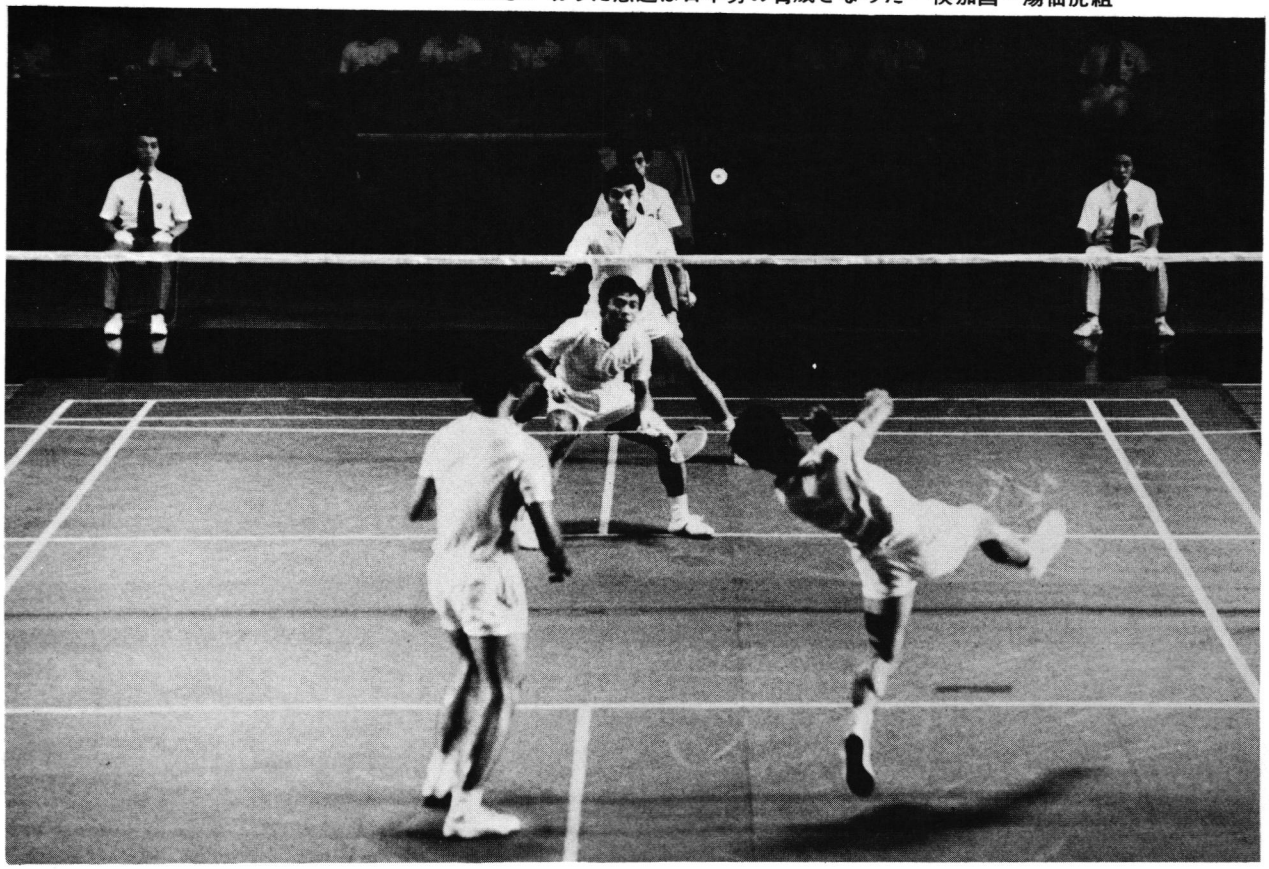
林有雅の強烈なスマッシュ



世界の相沢・竹中組も中国の果敢な攻めに会い，こういった光景もしばしば



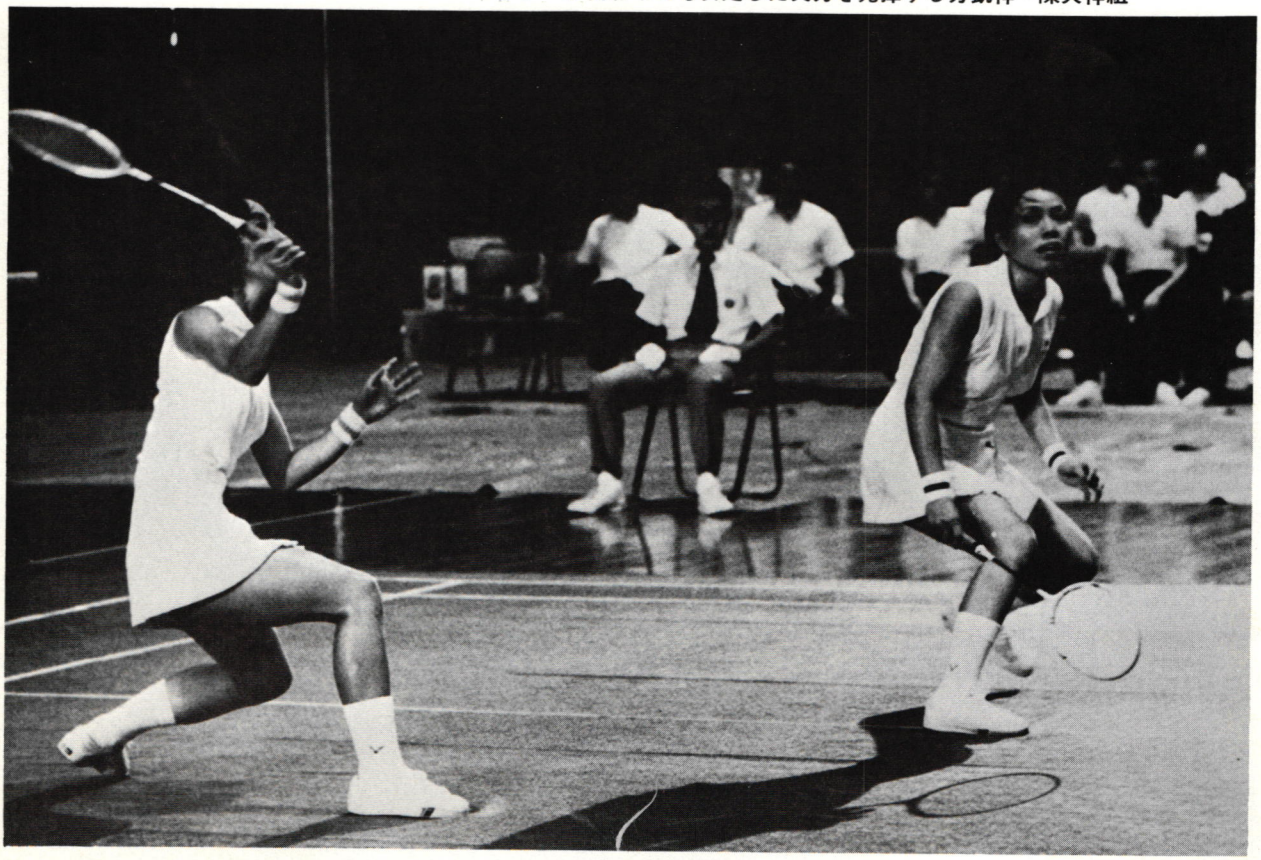
この思い切った窓進は日本勢の脅威となった—侯加昌・湯仙虎組



陳天祥・呉俊盛組(手前)対本間・今泉組



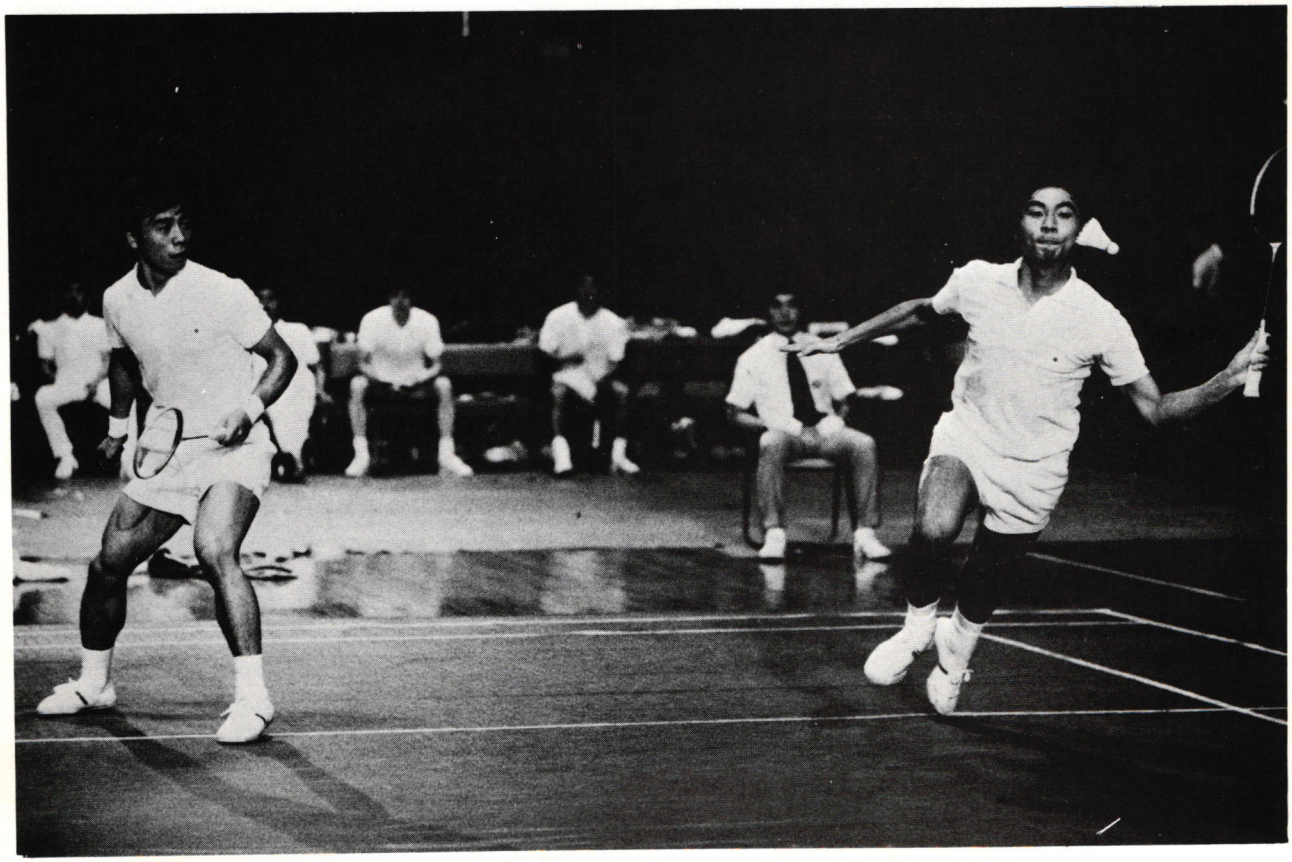
パートナーが代わっても安定した実力を発揮する方凱祥・陳天祥組



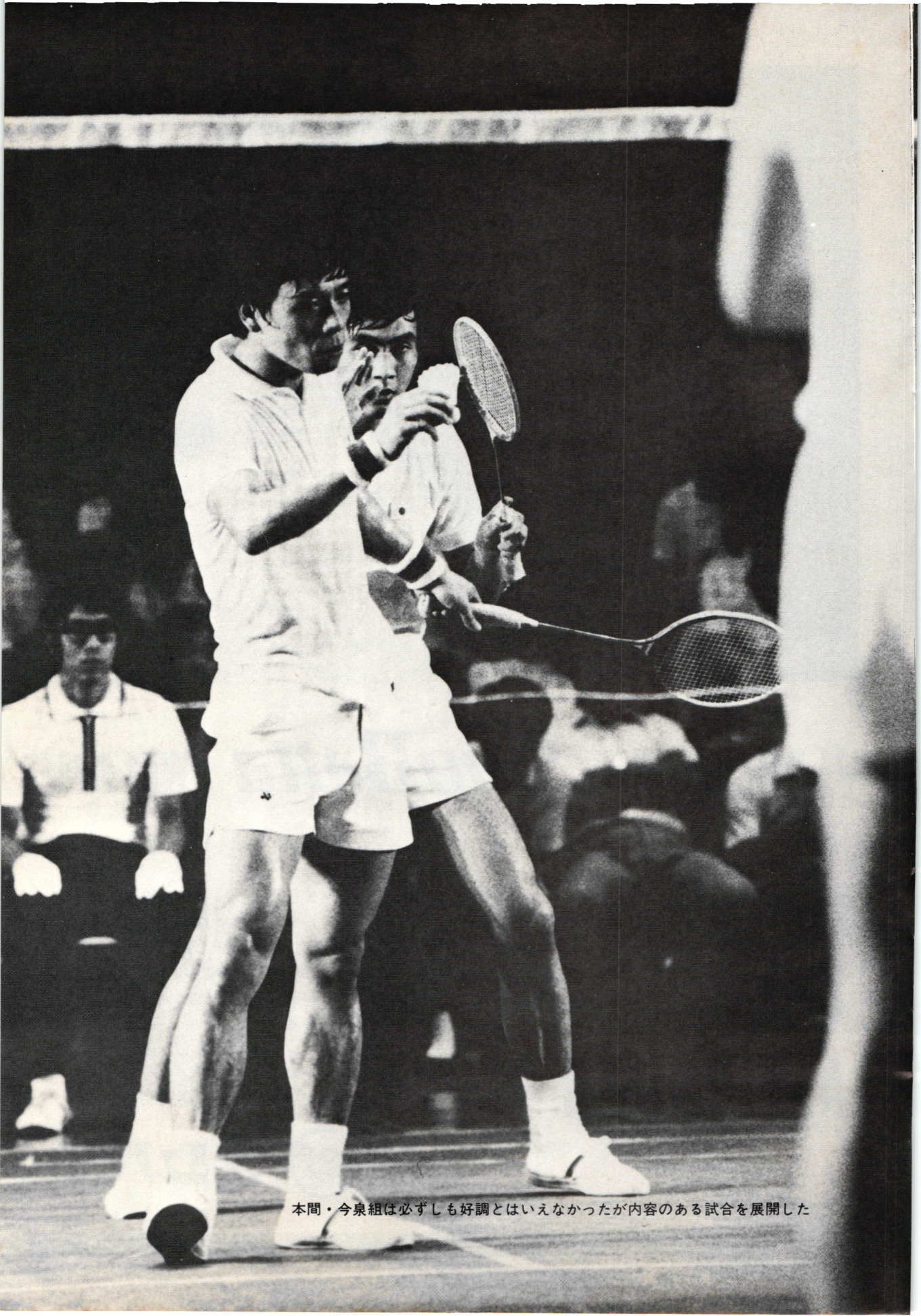
いまひとつの力を出し切れなかった湯木・柴山組



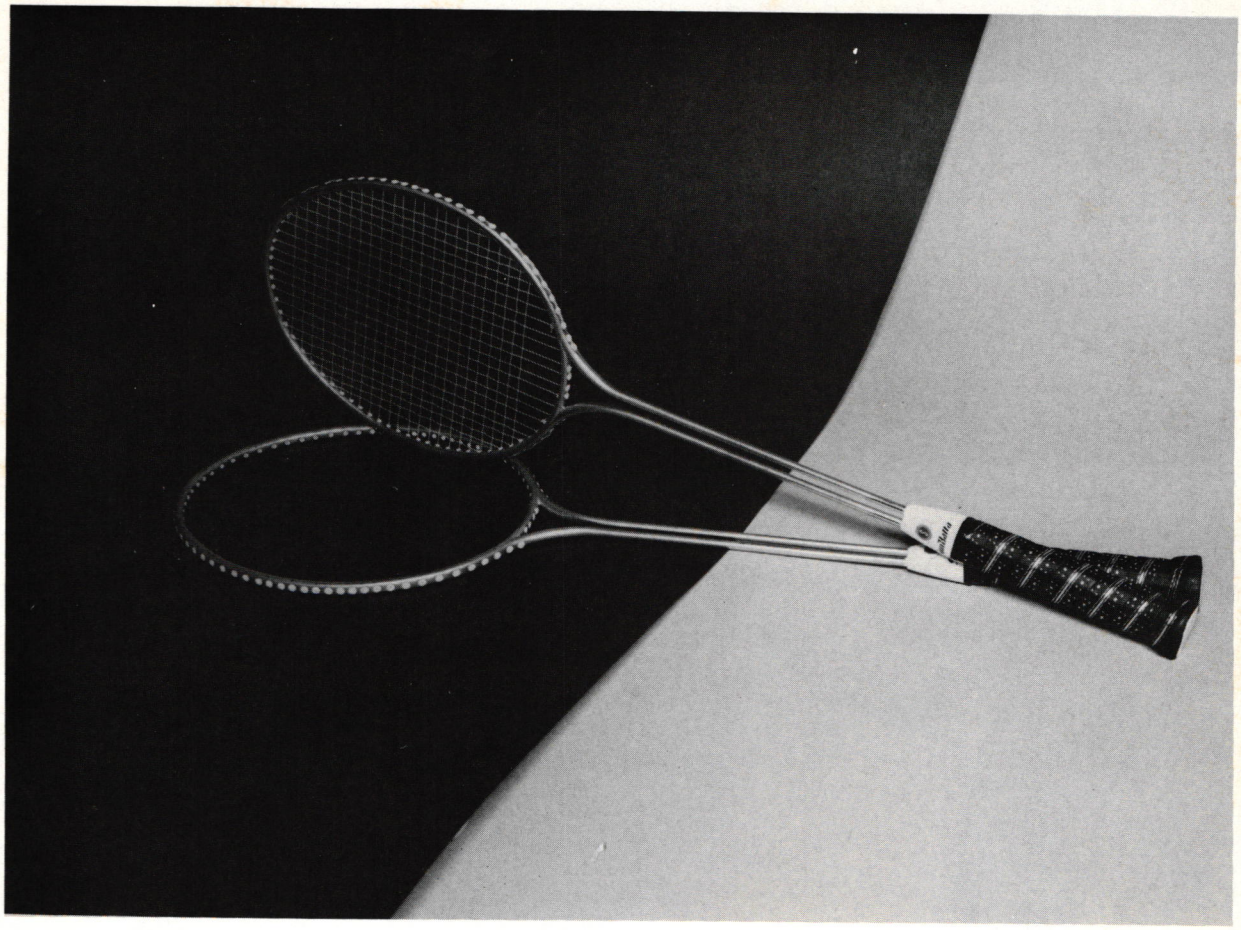
ベテランらしい落ち着いたプレーをみせる陳天祥・呉俊盛組



けんめいに食い下がる本間・今泉組



本間・今泉組は必ずしも好調とはいえなかったが内容のある試合を展開した



ALL STEEL RACKET SunBatta TWIN SHAFT

究明され！
完成された！
S-74
ALL ROUND

プレーヤーが長い間求めていたオールスチールが誕生しました。
従来のオールスチールラケットの利点及び欠点をあらゆる角度から究明され改良をし今ここに完成され皆様の目の前に現われました。
ツインシャフトの採用によって、フレームとシャフトとのひねりが最小限に押えられ自由自在なショットを楽しむ事が出来るでしょう。
アタックによし、レシーブによし、それがS-74オールラウンドです。
◇フレームのみ（ケース付）￥ 5,000

SunBatta TOKYO サンバタ

9月9日
福岡大会

西尾・秋本組健闘
4－2で中国連勝

第一回日中バドミントン競技大会福岡大会は、九日午後一時から福岡市の市民体育館に約三千人の観衆を集めて女子シングルス、ダブルスの各3試合を行い、中国が4－2で勝った。

日本は第1試合で湯木が梁に2－0と元気なく敗れるなど、シングルスでは中国に完敗。ダブルスは西尾、秋元組の若いペアが鄭、許組に接戦の末逆転勝ち、相沢、竹中組もすばらしい動きで中国NO1ペアの丘、林組をストレートで下し世界NO1の貫録を示した。だが湯木、池田組は即席ペアのうえ湯木が体調を崩しているため鄭、陳組にフルセットの末惜敗した。

中国 4（単3－0、複1－2）2 日本

○梁秋霞 2（11－2、12－9）0 湯木

鄭恵明 1（4－14、11－15、15－10）2 西尾 秋本○

○劉暁征 2（11－3、11－7、8－11）1 西尾

○梁秋霞 2（15－11、15－8、15－18）1 湯木 池田

○李芳 2（11－4、11－7、8－11）1 松尾

丘玉芳 0（3－15、6－15）2 相沢 竹中○



丘玉芳・林有雅組

N. B. I. のC. M. BRAND

バドミントンの気品
CMの風格

‼ご存じですか‼

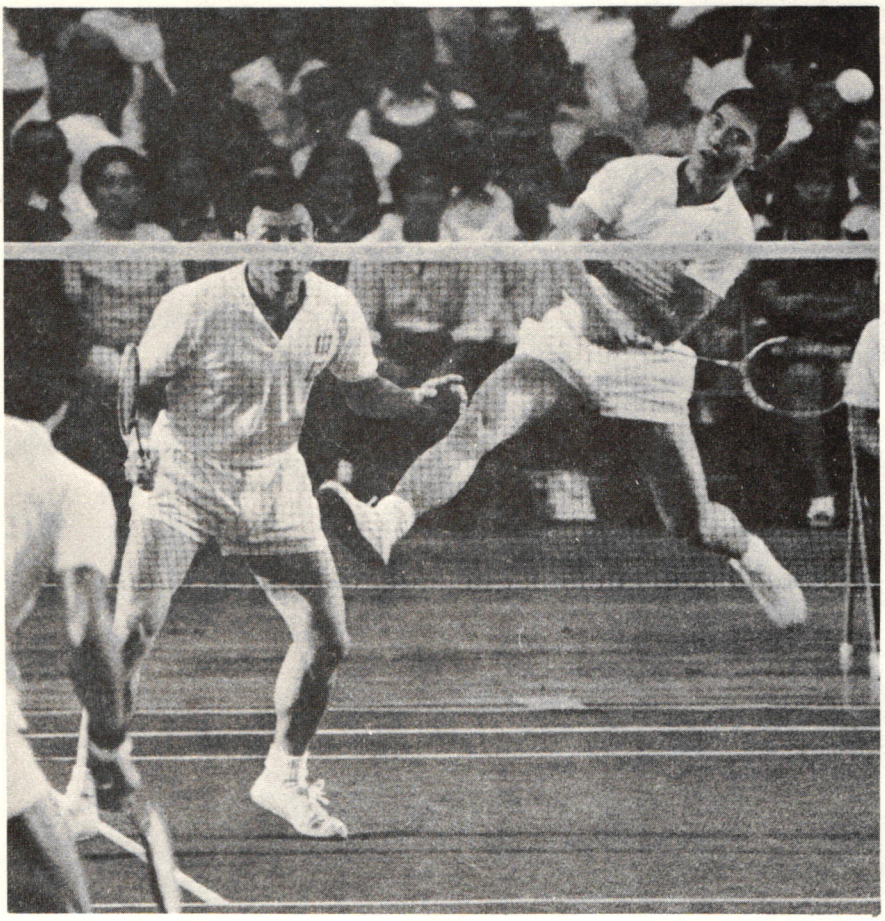
★ 我国でシャトルコック製法を一番先に機械化して水鳥シャトルを普及したのはCMです。
★ N.B.I はバドミントン普及発展のために製造から直売システムです。
★ 現金でお申込になれば卸価格でお求め出来ます。

日本バドミントンインダストリ株式会社
東京都三鷹市井ノ頭4－8－7　TEL 0422（47）3331（代）－3

9月11日
金沢大会

中国チーム、金沢でも圧勝

小島、シングルスで奮闘

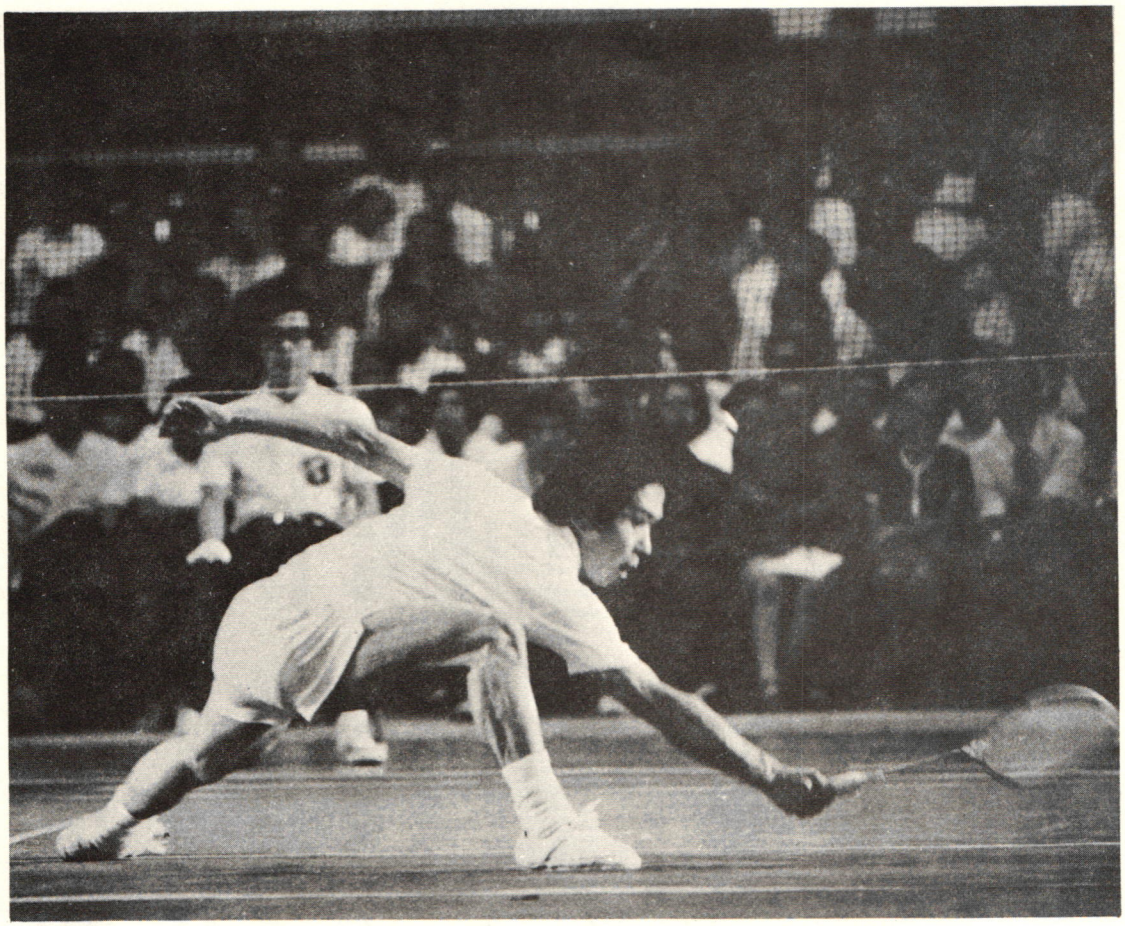


方凱祥・陳天祥組の速攻は目をみはるものであった（読売新聞提供）

第一回日中バドミントン競技金沢大会（日本バドミントン協会・日中文化交流協会主催、石川県・県教委・金沢市・同市教委・北国新聞社・北陸放送後援、輪島市・高松町・日本海博協賛）は十一日午後五時から金沢市丸の内、石川県体育館で約三千人の観衆を集めて男子単二、複二の計五試合が行われ、中国チームが4－1で快勝した。単で日本チャンピオンの小島一平選手は中国の新鋭痩躍東選手を2－0で破ったが、石川県代表の松下力選手・長谷川選手組らの四試合は善戦及ばず、男子日本選抜チームは東京、仙台、札幌大会に次いで4連敗を喫した。

世界バドミントン界の〝無冠の王者〟中国チームを迎え会場は満員。中国チームナンバーワンの侯加昌選手、ナンバーツーの湯仙虎選手らのすばやいジャンプショット、強い手首からくり出すスマッシュとスピードあふれる攻撃に観衆は目を見張った。日本の各選手も善戦、一試合目で富山県出身の池田信孝選手・栂野尾昌一選手は1対1の3セット目セッティングに持ち込みながらもあと一歩の差で涙をのんだ。石川県代表の松下力選手・長谷川進選手組も多彩な攻撃巧みなネットプレーで呉俊盛選手・周克倹選手組を攻めたが、力及ばず2－0で敗れた。

中	国	4	(単1－1)			
			(複3－0)	1	日	本
○方凱祥		2	15－9			
陳天祥			18－14	1	池田	
			8－15		栂野尾	
庾耀東		0	7－15	2	小島	○
			14－17			
○呉俊盛		2	15－9			
周克倹			15－8	0	松下	
					長谷川	
○侯加昌		2	15－3			
湯仙虎			15－2	0	田所	
					谷口	
○陳新輝		2	15－6			
			15－11	0	今泉	



シングルスで貴重な1勝をあげた〝ガッツ〟小島（読売新聞提供）

松下・長谷川組の善戦およばず

日本勢はエース小島に地元の松下、長谷川、富山県出身の今泉、池田、栂野尾、谷口の北陸勢をからませたが、強力な中国の壁を破ることが出来ず、小島の1勝だけで終わった。

小島は、硬軟を織りまぜた攻めで庾耀東を、ほんろうした。地元の松下・長谷川組もよくがんばった。

1セットは相手のレシーブミスで先制した松下・長谷川は長谷川のスマッシュでリードを奪った。しかし、中国は周克俔のセンター攻撃で追い上げて6－3で逆転するなどシーソーゲームを展開、スタンドをわかせた。だが日本9－8のとき長谷川がバックをミスしてから中国は調子づき、6ポイントを連取した。

2セット目も松下・長谷川組は一本目を取ったが、コンビネーションの乱れから8－1と大きくリードされた。が、周のレシーブミスから松下・長谷川組好ラリーの応酬から8－8に持ち込んだものの力つき最後は1セット同様に押し切られた。

日本にとって惜しかったのは、第一ゲームの池田・栂野尾組。1セット目、栂野尾の調子がよくなかったこともあるが、陳天祥、方凱祥の強打、ラインぎわへのドロップショットを決められ、先取された。しかし、2セットに入って、池田の好レシーブで中国側に乱れが出て日本は1－1のタイとした。3セットは序盤、リードされたものの中国側がネット際へのショットをねらってのミスが目立ち9－9。13－13のセッティングに入ってから好ラリーが続いたが、わずかのミスをついて中国側が振り切った。栂野尾の調子が落ちていたのが日本に痛かった。

それにしても、中国は全般的に強いバネを生かしたフットワーク手首の使い方がすばらしく、スマッシュのスピードは抜群だった。特に侯加昌のバックラインからのジャンピングスマッシュはスタンドの目を引きつけた。

（北国新聞）

名古屋大会
9月13日

強打の中国圧勝

日本 複の1勝がせいいっぱい

無念、エース湯木故障には勝てず

第一回日中バドミントン競技大会の女子第5戦名古屋大会（中日新聞本社など後援）は、十三日午後五時からの開会式に続き名古屋市・愛知県体育館で5試合を行った。

定刻、両国選手団は、国旗を先頭に入場、両国国歌吹奏、愛知県バドミントン協会後藤淳会長、中国選手団団長孫藍女史がそれぞれあいさつ、花束贈呈、選手団紹介のあと、なごやかにペナントを交換、愛知県バドミントン協会、中日新聞本社から記念品が贈呈され開会式を終わった。

試合は同五時四十分から劉暁征・許慧玲対池田・冨居のダブルスで開始した。

中国は、林有雅・丘玉芳組が来日以来初めて相沢・竹中組を破るなど好調。4―1で一方的に日本を下した。

中国	4	単	2―0	
		複	2―1	
日本	1			
○劉暁征	2	15―4		
許慧玲		15―4		
池田	0			
富居				
○梁秋霞	2	11―1		
湯木	0	11―0		

○林有雅	2	15―4		
丘玉芳		15―8		
相沢	0			
竹沢				
○劉暁征	2	10―12		
		11―5		
		11―3		
西尾	1			
鄭恵明	1	17―16		
梁秋霞		10―15		
		6―10		
湯木	2			
池田○				

足がちがう中国チーム

次から次へ出ると負けの日本チーム。右太ももを痛めている湯木がシングルスで簡単に1、0点で敗れると、これまで2勝の相沢・竹中組もスピード戦法に切り替えてきた林・丘組にあっさりとストレート負け。やっと歯止めになったのは秋本に代わって出場の西尾が第1セットをセッティングで奪ったときだった。

最終ダブルスを前に、中国の陳福寿コーチが日本ベンチに山本コーチを訪れた。「足の痛い湯木を休ませたらどうですか」との好意的な申し入れだった。中国側はエース陳玉娘が練習中に内ももを痛めてすでに試合を自重。福岡大会で故障した湯木は、来名以来、中国側の周竜雲医師に連日手厚い手当てを受けていたものだった。

「いや、やります」湯木の意志で試合は始められ、日本側はやっと完敗を免れた一幕だった。

「勝ち負けはその時の戦法だけ。技術水準は両チームとも同じくらいです。湯木さんは足を痛めていたが、実際は力が上です。」

インタビューに答える陳福寿コーチは中国の快勝にも控えめな表現だったが、そのあと「日本のシングルスは前陣の守りからの攻めが弱い。ダブルスは攻撃をもっと強くしたら」と親切に気がついた点をぴたりと指摘してくれた。

この日観戦していた愛知看護短大の高橋正五郎教授（体育学）は、バドミントンにはくわしくないが次のように見ていた。

「下半身が違う。中国選手の足は日本でいえば陸上競技の選手のようにきたえてある」と―。

（中日新聞）



故障に泣いた湯木

9月14日
前橋大会

すばやい動きで中国勝つ

日本、ダブルスで一矢

第一回日中バドミントン前橋大会（男子）は、十四日午後六時から前橋市の群馬県スポーツセンターに約二千人の観衆を集めてシングルス二、ダブルス三の五試合が行われた。

実力にまさる中国男子チームは、すばやい動きから終始試合を有利に進めて、日本チームを圧倒した。

中国 4（単 2－0）1 日本
（複 2－1）

○湯仙虎 / 侯加昌 2（15－5 / 15－11）0 田所 / 谷口

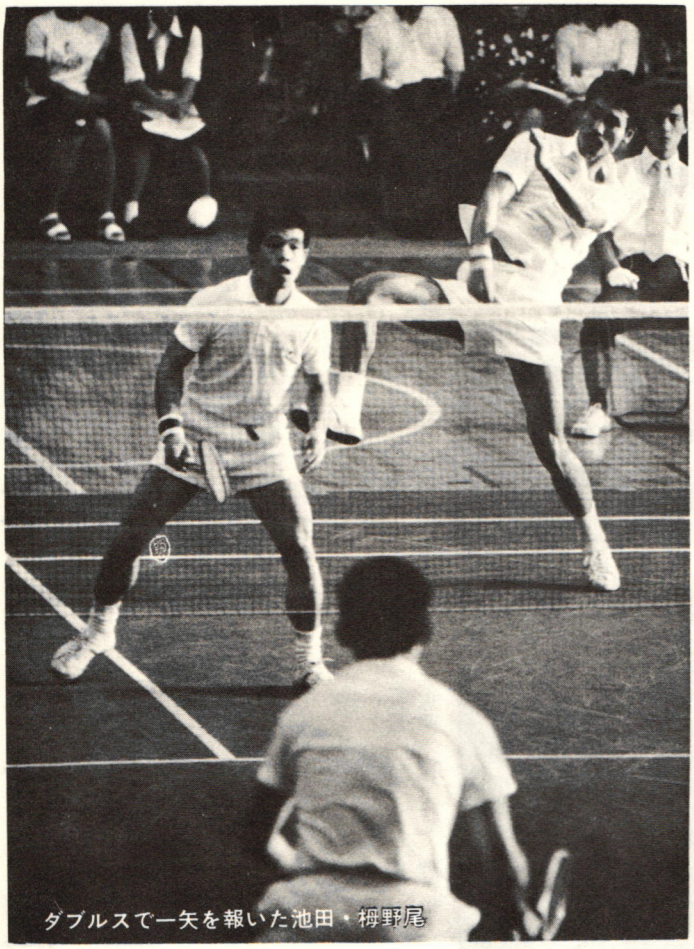
○陳新輝 2（15－1 / 15－11）0 梅野尾

○呉俊盛 / 周克倹 2（15－4 / 15－2）0 井上 / 今井

○瘦耀東 2（15－8 / 15－9 / 10－15）1 本間

方凱祥 / 陳天祥 1（4－15 / 15－8 / 8－15）2 池田 / 梅野尾○

（朝日新聞）



ダブルスで一矢を報いた池田・梅野尾

水鳥 検定合格球

ファストゴールド

ファストシルバー



ファスト印シャトルコック 製造発売元 有限会社 ジャワ商会

山形市六日町7の28
電話 0263(33)3333(代表)

勝を飾る

横浜大会
9月16日

日本、相沢・竹中組の一本に終わる

日中大会全日程を終了

中国バドミントン・チームを迎えての第一回日中バドミントン競技大会最終戦は、十六日正午から横浜文化体育館で行われ、中国はこの日も強みを発揮して勝った。

日本は、女子ダブルス全英チャンピオンの相沢・竹中組が中国を破って好調なスタートを切ったが、そのあとといずれも完敗した。この結果、中国チームは全日程を終了し、全勝を飾った。

中国 6
（単 3－0）
（複 3－1）
1 日本

○梁秋霞 0
（11－15
16－17）
2 相沢○
鄭恵明 竹中

○侯加昌 2
（15－9
15－6）
0 小島

○陳新輝 2
（15－5
15－5）
0 秋山

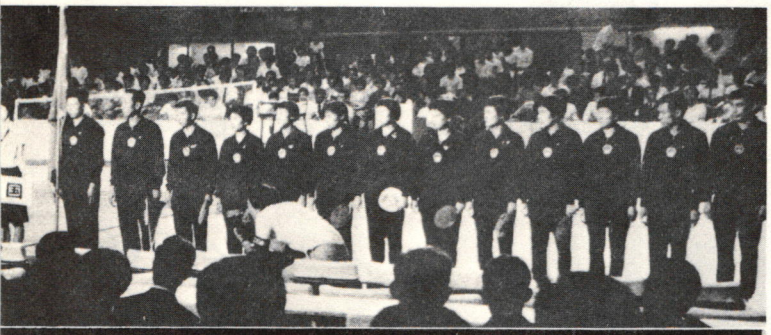
○方凱祥 2
（15－10
7－15
15－7）
1 本間
○陳天祥 今泉

○湯仙虎 2
（15－8
15－9）
0 池田
侯加昌 梅野尾

○陳玉娘 2
（11－2
11－4）
0 西尾

○丘玉芳 2
（15－9
15－1）
0 湯木
林有雅 池田

（朝日新聞）





苦しい試合展開の湯木・池田



戦い終わり，ホッとした表情の日本チーム

中国，10戦全

攻守ともに日本が学習

中国バドミントン・チームを迎えた、初の日中交流戦は、終始中国が強豪ぶりを発揮して終わった。

来日したとき「学習にまいりました」と話していた中国チームの指揮陣だったが、どうやら世界女子チャンピオン国日本が〝学習〟させられた形だった。

十六日、横浜文化体育館での最終戦が終わったあと、遠井稔男男子監督は「ショックだ」といってイスにすわり込んでしまった。女子の伊藤基記監督も、「強烈パンチを食いました」と力なく今回の試合をふりかえっていた。

①高い打点からのジャンプスマッシュ②相手のゆさぶる左右の攻撃をいとも簡単にひろいまくる守備。今回、中国が発揮した爆発力だ。

遠井監督はいう。「何回もくり返されるジャンプスマッシュを打つための選手のジャンプ力、コーナーぎりぎりの球を苦もなくひろって打ち返すからだの柔らかさ、さらに手首の強さ、よほど訓練している証拠だ」と。

沈みきった日本関係者をよそに、王文教・中国コーチは「より高く、より速く、より強く、を目標に練習しています」といった。仕事の合間に、熱心に練習している、というだけで、練習時間や具体的な練習内容については話してくれなかったが、バドミントン競技に必要な科学的筋力トレーニングを積んでいることは間違いないようだ。

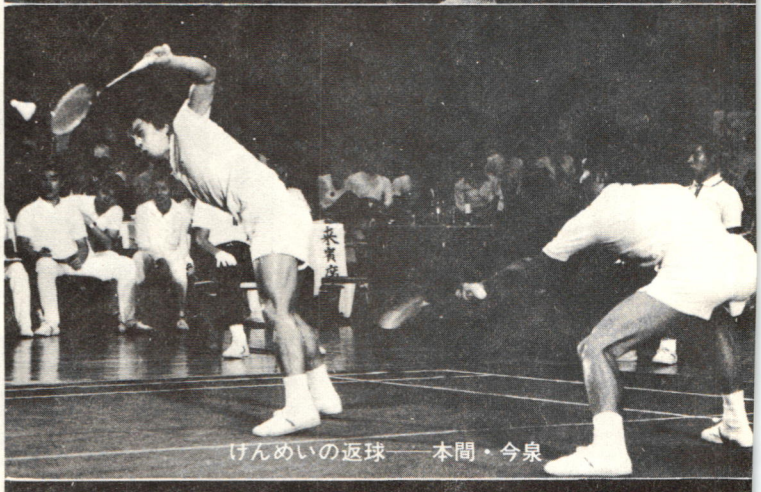
中国は国際バドミントン連盟にはいっていない。だから世界選手権には出られない。が、飛躍して中国が世界選手権に出場した場合を考えたとき、「日本の強敵になることはまちがいない」と日本の関係者はみている。

これまで多くの国際大会に参加して腕をみがいてきた日本。だが、今回ほど成果のあった大会はなかったのではないか。

（朝日新聞）



最終戦を前に整列する両チーム


けんめいの返球――本間・今泉


熱心に学習の中国ベンチ

全国各地に友好の芽を——日中大会にひろうスナップ

短い日程の中で，ハードスケジュールをこなしながら，各地で笑顔をふりまいていった中国選手団の人なつっこさは忘れられない。
ツァイチェン——また会いましょう

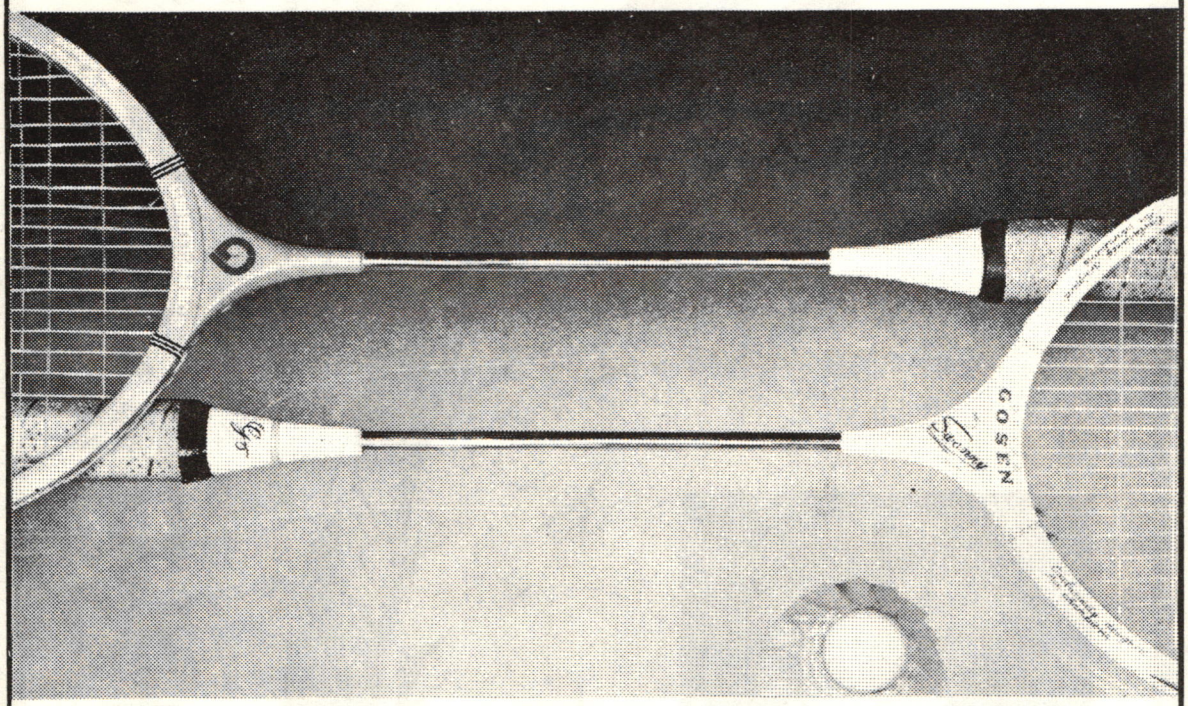

歓迎レセプションにて


ブドウ狩りを楽しむ（石川県高松町にて）


明治村を訪問


竹中悦子選手の母校石川県高松中学で同校生徒と交歓

精緻。俊敏。この確かな手応え。
ロング・テーパード・シャフト。



LUBIRD & SWANNY

Gosen Badminton Racket



特殊合板の力強いフレームと、
従来のものよりさらに長くなった
クローム・テーパード・シャフトの強靭性
が強力なバイブレーションを生み出します。
ゴーセン・ルバード、スワニーのロング・シャフトコンビ
が逞しいラケットワークを可能にし、世界のバドミントン
界を陵駕し、そのシャープで逞しい手応えを披露します。

●No.B65ゴーセン・ルバード〔フレーム〕……¥3,800
●No.B60スワニー〔フレーム〕・タオルグリップ付…¥3,800

株式会社ゴーセン
本　　社・大阪市東区豊後町4　☎(06)942-5816(代)
東京営業所・東京都台東区鳥越1-26-1　☎(03)862-6576(代)

カアルトン ニュートーナメント は水鳥？

ナイロンを感じさせないナイロン。

新開発された、カアルトン〝ニュートーナメント〟シャトルは、ナイロンと云うよりも英国製高級水鳥シャトルに最も類似した性能を備えた、新しいシャトルです。



ニュートーナメントの特徴

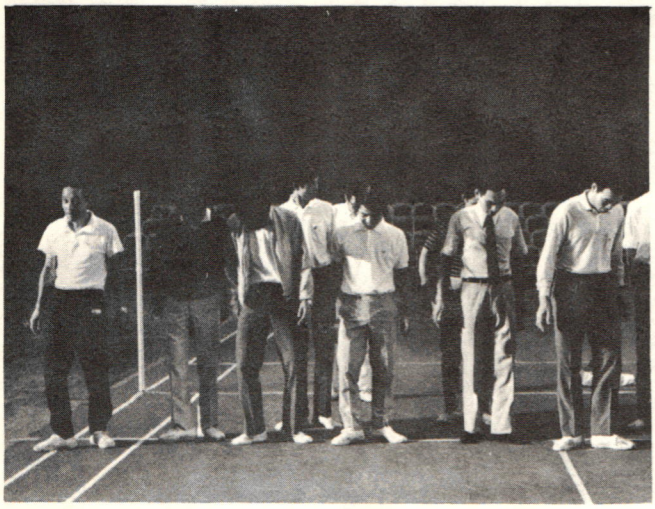
●打球音が変った●ラケットから離れる感じが変った●ネットでのターンノーバ（回転）が変った●スピン●シャトルに対する視覚度（よく見える）がよくなった●飛翔のときの一貫した安定性が増加された。

メトロレジャー株式会社

東京都千代田区外神田5-6-4 TEL. 833-3661（代）

スナップ

コート・マットを敷くということは，ハタで見るよりずっとむずかしいこと。マットの下に入ってしまった空気を追い出すのが至難のワザ。かくて下の写真のとおり……杉田博さん（左端）も鈴木勝之さん（右端）も悪戦苦闘。（最終戦を前に横浜文化体育館で）
中国チームはどんなペットマークをつけているか気になった方も多いと思いますが，実は右のようなパンダ（熊猫と書くところがミソ）マークでした。





日中両国代表メンバー紹介

〔中国代表メンバー〕

〔役員〕団長＝孫藍（45）中国バドミントン協会副秘書長、**副団長**＝魯明栄（44）中国バドミントン協会秘書▽王福生（38）中国人民対外友好協会理事、**通訳**＝隋華義（27）北京第二外国語学院教師▽王英蘭（34）中華全国体育総会工作員、**医師**＝曾昭廉（36）北京体育学院医師▽周龍雲（37）北京体育学院医師**コーチ**＝王文教（39）北京体育学院教師▽陳福寿（41）北京体育学院教師

〔男子選手〕▽湯仙虎（31）中華全国体育総会福建省分会工作員▽侯加昌（30）広州業余体育学校コーチ▽方凱祥（33）広州市六十中学校教師▽陳天祥（29）福州市小学校教師▽呉俊盛（36）福建バドミントン工場労働者▽陣新輝（21）北京体育学院学生▽瘦耀東（21）北京体育学院学生▽周克倹（23）北京体育学院学生

〔女子選手〕▽陣玉娘（27）中華全国体育総会湖北省分会工作員▽梁秋霞（22）北京体育学院学生▽劉暁征（26）福州市実験小学校教師▽林有雅（25）福建バドミントン工場労働者▽丘玉芳（24）福建バドミントン工場労働者▽鄭恵明（24）上海市師範学院体育学院学生▽許慧玲（23）北京バドミントン工場検査員▽李芳（17）長沙市二十五中学学生

〔日本代表メンバー〕

〔役員〕男子監督＝遠井稔男（38）栃木県立真岡女子高教員・日本体育大学出、**女子監督**＝伊藤基記（58）熊本女子大学体育研究室・東京高師出、**男子コーチ**＝板垣隆房（34）板垣商店・立教大学出、**女子コーチ**＝山本洋彦（31）北辰電機製作所・慶応大学出

〔男子選手〕▽秋山真男（30）秋山紙店・中央大学出▽小島一平（28）ヨネヤマラケット・中央大学出▽池田信孝（26）日本電電公社目黒電報電話局・法政大学出▽栂野尾昌一（26）ヨネヤマラケット・法政大学出▽本間順次（25）トヨタ自動車工業中央大学出▽今泉勉（24）高岡市役所・中央大学出▽谷口寛（22）トヨタ自動車工業・立教大学出▽田所光男（22）日本電電公社東京電気通信局・法政大学出▽山並正人（24）千代田工業勤務・東北学院大出▽渡部紘一（31）尚絅女学院高校教員・中央大学出▽松下力（旧姓沢田）（32）北陸電気通信局・法政大学出▽井上英夫（29）日本ルフト・日本大学出▽長谷川進（25）藤花高校教員・立命館大学出▽今井勇司（24）渋川女子高校教員・日本体育大学出▽遠藤好男（23）北海道電気通信局・日本大学出

〔女子選手〕▽湯木博江（24）河崎ラケット工業・日本女子体育大学出▽竹中悦子（23）ヨネヤマラケット・新潟青陵女子短大出▽相沢マチ子（23）ヨネヤマラケット・新潟青陵女子短大出▽柴山きよ子（21）河崎ラケット工業・東大阪短大出▽石崎茂子（21）日本電電公社大手町電話局・東大阪短大出▽池田美加（22）日本女子体育大学4年▽西尾真理子（20）日本体育大学3年▽秋本八代美（20）日本体育大学2年▽柿本彰子（24）三菱重工長崎造船所・活水女子短大出▽富居康子（21）豊田自動織機製作所・彦根西高出▽池田静江（20）トヨタ自動車工業・真岡女子高出▽樋口省子（20）樋口事務所・長崎商業高出▽松尾淑子（20）福岡大学2年▽徳田敦子（17）四条畷学園高3年▽高田幹子（17）四条畷学園高3年

スタンドから

第一回日中大会を観戦しましたが、中国選手の強いこともさることながら、観衆に対する配慮のなさに驚きました。

まず、あの暑さはどうにかならなかったのでしょうか。いくら何でもひどすぎると思います。バドミントンというスポーツは少しの風があっても正確なプレーができないというのは私も知っています。

しかし、かりにも入場料を払ってはいったお客に対して、全く配慮がなされていないというのはどういうことなのでしょうか。アマチュアスポーツだから見せ物ではないかも知れません。しかし、決して安くはない入場料を払う以上、私たちにももう少し、その入場料に見合うくらいの、観戦しやすい条件をととのえてほしいものです。

今年の初め、ヨーロッパの女子選手が来日したときにも、横浜大会を観戦しました。そのときは、長い時間、寒風の中で待たされたあげく、底びえのする体育館でふるえながら見ました。

そして、今回の東京大会はなみのサウナより暑いのではないかと思われる館内。

これでは、せっかくもり上がりかけたバドミントン熱も、これ以上は期待できないのではないでしょうか。

そして、この大会も今までの例にもれず、ほとんど事前のPRもなく、あの代々木のさしてい大きくない体育館にも空席が目立っていました。

日本協会の役員の方々にお願いと提案があります。第一に、かりにも入場料を払ってくる私たち観衆にもう少し気を配ってほしいということ。現在の状態は〝試合を見せてやるから文句いわずにおとなしくしろ、むしろありがたいと思え〟といったPRというとすぐにアマチュア規定とのかかわり合いの問題がありますが、いったい何が大切なのかという原点にかえって、検討されることを望みます。

週刊誌などで、女子選手がグラビアをかざったり、談話がのったりするたびに、何かバドミントンの普及発展というものがゆがめられているような気がしてなりません。関係者の方々の尚いっそうの研究と努力を希望します。

最後に本誌の遅延はなんとかならないのでしょうか。もう秋だというころに春の記録がのったりするのはどうかと思います。人手不足かとは思いますが、これもお金を前払いしている者からすれば、いつも月遅れというのは不安なものです。

ご健闘を祈ります。

（横浜市磯子区　S・I生）

考えてほしい観客への配慮

感じです。第二に、なぜもっと事前にPRをしないのかということ。試合場には何やら役員らしい人がたくさんいますが、大会前にももう少し力を入れてほしいと思います。第三に、こういった有意義な大会には、地元の小中学生を無料で招待するとかいったことはできないのでしょうか。私の記憶ではユーバー杯の決勝の日以外、超満員となったことはないと思います。どうせと言っては失礼ですが、席を空けたままにしておくのでしたら、これからバドミントンをやっていこうという若い力を育てる意味でも、無料で見学させるのも大切だと思います。

これは、国際試合にかぎらず国内大会でも、もっと積極的にPRをしたほうがよいかと思います。

編集室から

○…たいへんお待たせいたしました。ようやくここに第一回日中大会の特集号をお届けいたします。今月号は思い切ってグラビアページを倍増し、豊富な写真を入れてみました。もう一度写真を見ながら、あの中国選手のすばらしさを思い出して下さい。そして、日本選手のことも。

○…今月号ではいつもすばらしい写真で本誌をかざって下さる山田真市さんだけでなく、読売新聞社と北国新聞社の方々にもお世話になりました。紙面を借りてお礼申し上げます。

○…本号がお手もとに届くころ48年の最後をかざる全日本総合選手権が終了していると思いますが、次号では国民体育大会と全日本学生選手権を中心に組み、その次の号で、全日本総合選手権のもようを詳細にお伝えしたいと思います。この二号を猛烈ペースでやって、来年からは何とかして本来の刊行にもっていくつもりです。

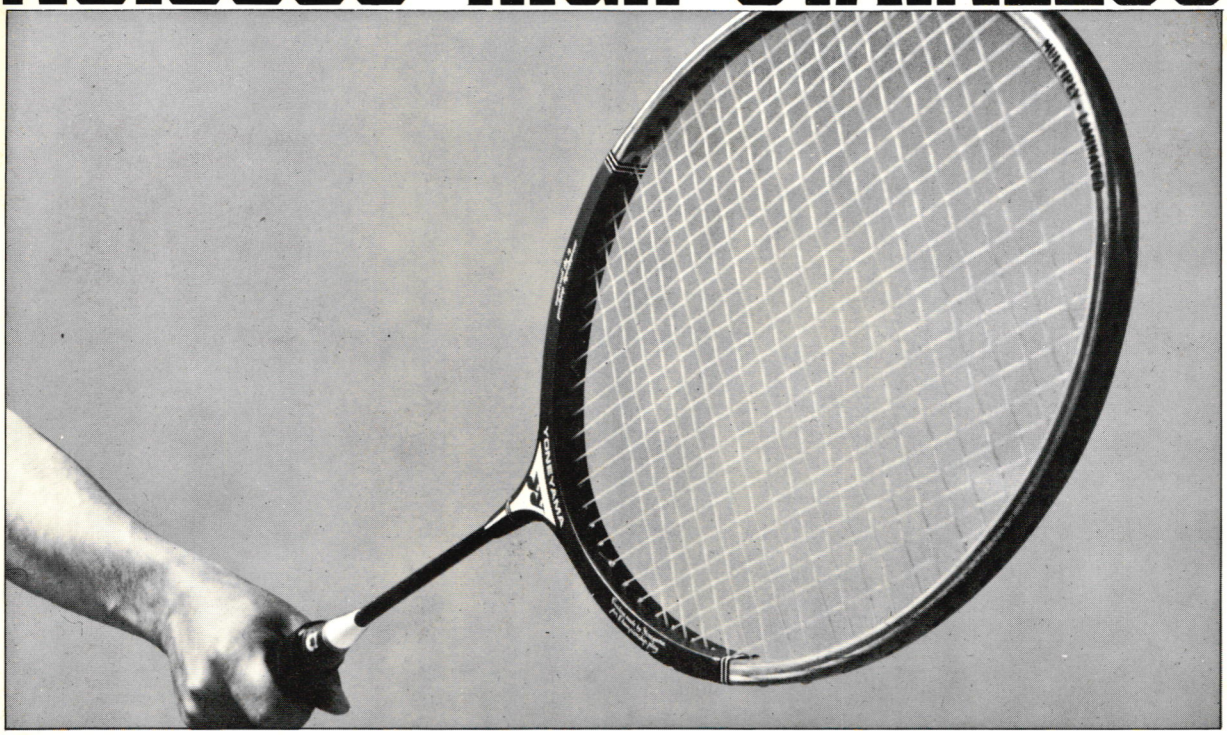
○…小島一平さん（元ヨネヤマラケット）鈴木正造さん（同）宮川秀樹さん（元河崎ラケット）が、横浜に「ラケットショップ元町」をオープン。三人三様の特色を生かして大いに張り切っている由。若さで見事にベンチャービジネスを開花させてほしい。次号でオープンのもようなどをお伝えできるかもしれない。

本誌第47号で、編集部の手違いにより、諸江製作所（サンバタ）様ならびにジャワ商会様に多大のご迷惑をおかけ致しました。ここにおわび申し上げるとともに、快くご了解下さったジャワ商会様ならびに諸江製作所（サンバタ）様に御礼申し上げ、今後のご協力を併せてお願い申し上げます。

【バドミントン界】第48号
昭和48年9月25日　印刷
昭和48年10月1日　発行
編集兼発行人　秦　浩
発行所　東京都渋谷区神南一の一の一
岸記念体育館内
日本バドミントン協会
電話　四六七・三一一一（内線）二五一
四六七・七〇九五（直通）
郵便番号・一五〇
振替口座・東京三二一九三
印刷所　東京都豊島区南大塚二一二九
明宏印刷株式会社
定価　一部　百三十円

©無断転載を禁ず

No.9000 HIGH STAINLESS



未知のちからを隠しもつ

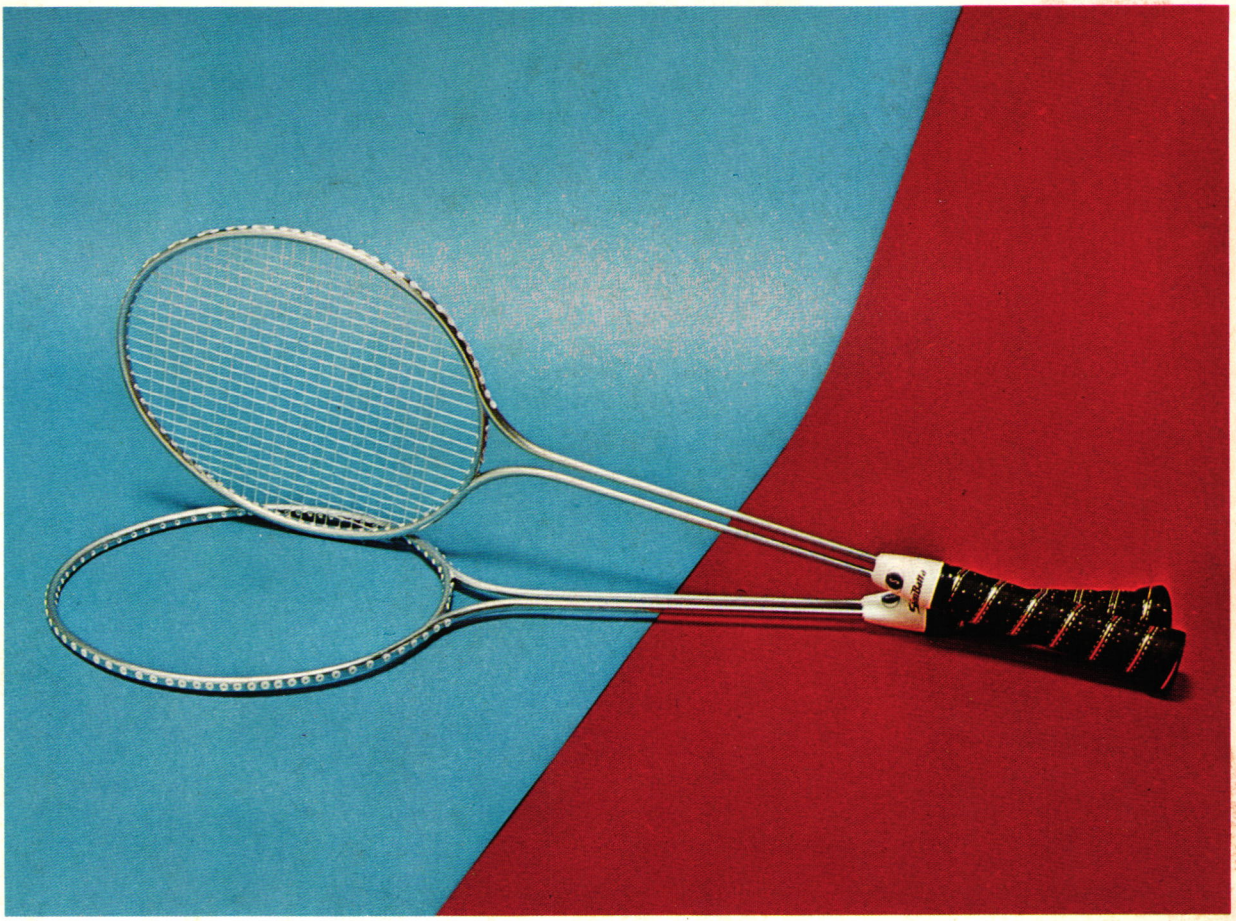
ステンレスのシャフト

しぶとい弾力。まったく鋭い切れ味。瞬間に炸裂する攻撃力。いままでのバドミントンラケットでは、とても出せなかった鮮烈なパワーです。シャフトにステンレスの特性を生かしきってありますから、難度の高いテクニックも思いのまま。これぞ、バドミントンを科学するヨネヤマの、新しい自信作です。その名をハイステンレス。その真価は、世界に点在する一流プレイヤーたちに問いたい。

No.9000ハイステンレス/ ¥3,800(フレームのみ)

ヨネヤマラケット

月刊「バドミントン界」第48号
昭和四十八年十月一日発行（毎月一回一日発行）
昭和四十四年十二月二十三日　第三種郵便物認可
発行所
東京都渋谷区神南一ノ一ノ一
岸記念体育会館内
日本バドミントン協会　定価百三十円



ALL STEEL RACKET SunBatta TWIN SHAFT

究明され！
完成された！
S-74
ALL ROUND

プレーヤーが長い間求めていたオールスチールが誕生しました。
従来のオールスチールラケットの利点及び欠点をあらゆる角度から究明され改良をし今ここに完成され皆様の目の前に現われました。
ツインシャフトの採用によって、フレームとシャフトとのひねりが最小限に押えられ自由自在なショットを楽しむ事が出来るでしょう。
アタックによし、レシーブによし、それがS-74オールラウンドです。
◇フレームのみ（ケース付）￥ 5,000

SunBatta TOKYO
サンバタ